

oukai.

桜友会報

特別企画

皇太子殿下ご講演録

中世における瀬戸内海水運について——
兵庫の港を中心に



桜友会定時総会のご案内

桜友会ホームページ

<http://oukai.etc.gakushuin.ac.jp/>

小笠原伯爵邸

www.ogasawaratei.com

03-3359-5830 (レストラン・スペイン料理・予約制)

03-3359-5833 (ブライダルデスク)



平成17年4月17日

「オール学習院の集い」

サクラ咲く目白キャンパスで開催

主催／学校法人学習院 共催／学習院父母会・桜友会・常磐会



学習院の サクラについて

この10年来学習院では目白キャンパス内のサクラの品種を増やし、なるべく長い間、学習院のシンボルであるサクラの花が楽しめるような取組みをしている。写真の八重桜は「オール学習院の集い」の時期が見頃。

もともとサクラを見る会としてはじまった「オール学習院の集い」。現在はより多くの人に参加できるような時期にということで、開催日がサクラの開花ピークと若干ずれてしまっているが、品種によってはまだこの時期にも十分鑑賞に値するものがあり、今年もキャンパスのあちこちで学習院の一大イベントを応援するかのようには咲き誇っていた。

この「オール学習院の集い」、学習院の特別なはからいでキャンパスを開放してもらい、教職員、在学生に加え、父母、

卒業生、さらには近隣の住民も含めて、まさにオール学習院一体となって行われる行事である。この機会に、ゼミ・クラス会、輔仁会サークルなど各種同窓会もキャンパス内で多数開催されており、各年代・時代を超えたオール学習院の集いでもある。

桜友会のチャリティーラッフルの益金が、盲導犬の普及のための財団であるアイメイト協会に寄付されるのも例年どおりだ。ご協力ありがとうございました。

第19回「オール学習院の集い」催事レポート

開会式／10時からの百周年記念会館正堂での開会式では、福田一雄氏のピアノ伴奏による国歌・院歌斉唱、田島義博学習院長の主催者挨拶、桜友会オール学習院の集い実行委員会の東園基政委員長の共催団体代表挨拶につづき、亀井泓桜友会長より財団法人アイメイト協会へのチャリティーラッフル寄付金の贈呈式が執り行われた。

剛き酒会／桜友クラブが主催してきた剛き酒の会は、本年3月の桜友クラブ解消後、桜友会によって引き継がれたもの。引きつづき多くの来場者を集め、例年どおり人気のスポットとなっていた。

魚沼市物産展／ワンダーフォーゲル部が新潟県湯之谷村銀山平に山小屋「蛇子沢小屋」を建てたのが縁で昨年に続き出店をお願いした。餅つきやコシヒカリつかみ取り大会などのイベントは、行列ができるほどの盛況だった。なお、湯之谷村は昨年11月に、堀之内町、小出町、広神村、守門村、入広瀬村と合併し魚沼市となった。後援・魚沼市、JAゆのたに村、ワンダーフォーゲル部、桜友会、蛇子沢小屋、新潟桜友会。星野芳昭・魚沼市長も来院された。

フリーマーケット／近隣にお住まいの方々の出店によるフリーマーケットを北1号館1階の南側回廊付近で開催。

「花菰のセラー服はあなたです」大越譲台（平成17年度「オール学習院の集い」俳句の会最高点句）



夢を夢で終わらせない。



Personal
Money
Management

“お金のホームドクター” PMMのファイナンシャル・アドバイザー

PMMサービスは、お客さまの家計状況の現状分析を行い、
貯蓄計画・資産運用設計・保障対策・相続対策などの
バランスを考えた包括的なアドバイスを行うマネー相談サービスです。

まずはお電話で、何なりとご相談ください。

PMMサポートデスク (受付時間 平日9:00~17:00 / 土日祝日を除く)

フリーダイヤル **0120-413831** よいサービスはみつい ※携帯電話・PHSからもお受けできます

URL www.mitsui-seimei.co.jp/pmm/

CONTENTS



第150回 桜友会「月例会」で

特別企画

皇太子殿下ご講演録6

中世における瀬戸内海水運について——
兵庫の港を中心に見て

第150回 桜友会「月例会」記念パーティー14

■私の「立場」

「移植医療」の最前線 川原敏靖(順天堂大学医師) 4

■一枚の写真から

明治から昭和へ 遠藤初彦(元・防衛庁)48

『ありがとう! 桜友クラブ』

亀井 泓(桜友会会長)33

桜友クラブの諸活動が桜友会と一体化!

「オール学習院の集い」開催1

平成17年度学習院公開講演 37

OB・OGが大学卒業式に招待40
30・40・50周年同窓会告知

桜友会ライブラリー38

学部会

経済学部会42

河野博文(元・資源エネルギー庁長官) 講演要旨

法学部同窓会43 理学部同窓会44 文学部会45

草上会46

「桜再生プロジェクト」今橋理子(学習院女子大学助教授)

中等科・高等科桜友会/常磐会45

桜友会通信

編集室より17 全国・海外支部18

輔仁会OB・OG会20 職域桜友会22

桜友会事務局から活動報告とお知らせ24

個人情報保護法に関する公表28

桜友会定時総会のご案内17

「移植医療」の最前線

ボストン留学での雑感 — 医学の発展とともに

川原 敏靖 (昭61高)

(順天堂大学肝胆膵外科医師)

(かわはら・としやす)

学習院中等科を経て昭和61年学習院高等科卒業。平成5年順天堂大学医学部卒業後、同大学第2外科に入局。専門は移植、消化器外科。この間平成7年から2年間旭川医科大学第2外科に国内留学、また、平成12年にはアメリカ、マサチューセッツ州・ボストンにあるMassachusetts General Hospital(MGH)、Harvard Medical Schoolに留学。

平成16年(2004)1月、重症の糖尿病と腎不全を併発した30代の女性に、日本で初めて生体膵腎同時移植が行われ、父親から膵臓の半分と片方の腎臓が移植されました。また11月には、平成9年(1997)10月の「臓器移植法」施行後、31例目の脳死移植がなされ、心臓、肺、肝臓はそれぞれの施設へ搬送され、移植手術が行われました。

日本では、「臓器移植法」の改正で脳死移植によるドナー不足を改善しようという政治的動きがあるものの、すでに脳死移植を含めた移植医療が定着しているアメリカを見たとき、日本が近い将来直面するドナー不足の危機を容易に推測することができます。私のマサチューセッツ州の自動車運転免許証にも小さい赤いハートのマークが刻まれており、事故に遭遇し脳死になった際にはドナーとなることを承諾していました。

私の専門は移植、消化器外科。学習院中等科、高等科を卒業後、昭和62年(1987)順天堂大学医学部に入局、平成5年(1993)卒業後順天堂大学第2外科に入局しました。

学生のころから移植医療に興味を抱いていた私は、平成7年(1995)から2年間、旭川医科大学第2外科に国内留学をし「肝臓という臓器を移植するのではなく、肝臓の細胞だけを脾臓に移植して肝臓と同様の機能を作り出し、肝不全の患者さんの肝機能を補助する」という夢物語のような研究に着手しました。その研究がアメリカ、ヨーロッパの国際学会で評価され、アメリカの医学雑誌に掲載されました。そのことにより、平成12年(2000)の春、私は最先端の移植研究、および医療を学ぶためにアメ

リカ、マサチューセッツ州のボストンにある、Massachusetts General Hospital (MGH)、Harvard Medical Schoolに留学することになったのです。

MGHでは、基礎医学研究所と臨床をになう病院とが協力しあうことにより最先端の臓器移植センターを作っています。臓器移植における免疫抑制での究極の目標は免疫寛容と呼ばれるものです。例えば母親の体は通常の異物に対する免疫能力を保ちながらも、胎児を異物と認識せず拒絶しないで受け入れることができます。つまり、胎児に対して母体は免疫寛容状態になっているのです。残念ながら現在、世界各国で行われている移植後の免疫抑制は、人間のすべての免疫能力を制御してしまつたために、感染症にかかりやすく弊害も大きくなります。レシビエント(移植を受けた側)が移植臓器だけに対して免疫抑制を働かそうという画期的な試みも、近年このMGHでは行われ、免疫寛容の基礎研究が実際に臨床応用される形となり世界的に注目を集めています。

また、ヒトの臓器をドナーとするには限界があるため、ブタなどの異種臓器に人間の遺伝子を導入して移植する「異種臓器移植」の研究も進んでおり、驚くべきことにアメリカではすでに臨床応用されるまでに至っています。平成16年(2004)7月、日本政府の総合科学技術会議は再生医療の応用に期待し、ヒトクローン胚の作成を認可しました。ヒトクローン胚に自分の細胞の核を移植し、必要な臓器に分化させることが可能になれば、自分の臓器と全く同じ遺伝子を持つ臓器を作り出せるようになり、拒絶反応なしに移植することが可能となるので

ヒトの生命を守る 「夢物語」に着手。



©世界文化フォト

す。もちろんドナー不足の問題は解消されることとなります。

このように、医学は日進月歩で目まぐるしく進化しています。基礎医学と臨床が密接に関連し、医学の進歩を目指していくシステム作りこそが本来の大学病院のあり方で、大いにアメリカから学ぶべきところであると思います。地域医療に貢献して下さっている先生方とは違う形で医学の発展に貢献しなければ、大学病院の存在の意味がないと考えており、私自身もその責任の重大さを痛感しております。

アメリカの進んだ医療を積極的に学び、取り入れることは大いに歓迎すべきことであります。しかし、アメリカの医療技術、医療システムをそのまま日本に「移植」することが、はたして良いことかどうかは疑問であります。私たちは今一度、アメリカの医療がたどってきた歴史を検証し、その良い点を日本に移植し、日本の医療の優れた点と融合させることにより、日本独自のものを作り上げていかなければならないと思います。そして、基礎医学と臨床医学をつなぐことはわれわれ医師に与えられた重要な役割だと心得ており、今後も21世紀の医学の発展に微力ながら貢献していきたいと考えております。

「臓器移植法」改正の動きの中で
現行法では、ドナーカードによる本人の意思確認がなければ、脳死下での臓器提供ができない。これに対して家族の同意があれば臓器提供ができるという改正案が現在議論されている。移植を取り巻く環境整備も今後の課題だ。

特別企画
皇太子殿下ご講演録
SPECIAL LECTURE



中世における 瀬戸内海水運について

兵庫の港を中心に見て

毎回各界で活躍されている方々を講師に招き開催されている校友会「月例会」。

その「月例会」が平成17年2月10日の会で150回目となった。

この記念の会の講師としてご登壇いただいた皇太子殿下のご講演は、
大学時代より研究をつづけられている、中世における瀬戸内海水運について。

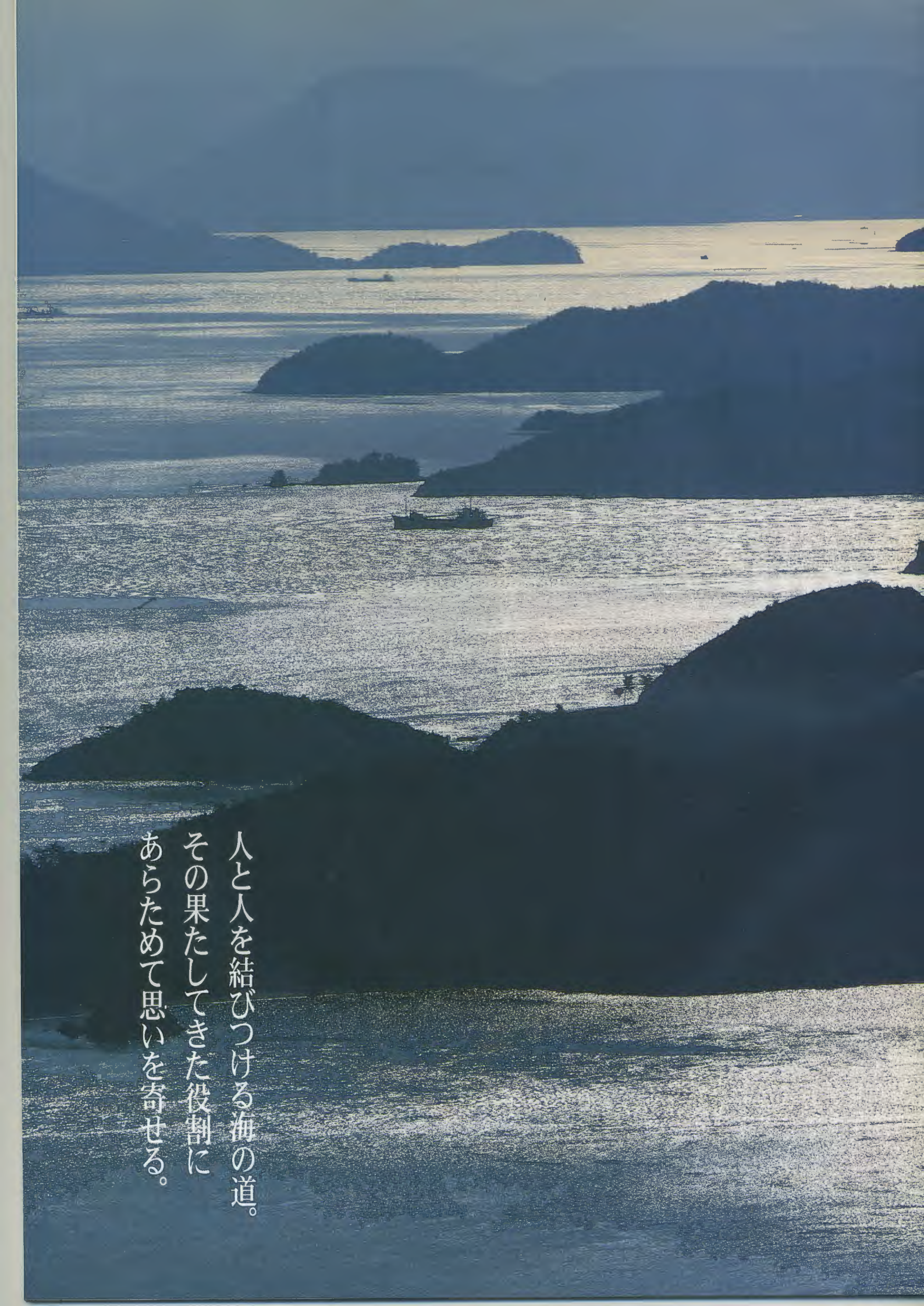
当日出席いただけなかった皆さまのために、ここに全内容をご紹介します。

皇太子殿下ご略歴

昭和35年2月23日生まれ。昭和57年学習院大学文学部史学科卒業。安田元久教授の指導で、中世の瀬戸内海の水上交通についての卒業論文をご執筆。昭和58年6月から同60年10月にかけて英国・オックスフォード大学マートンコレッジにご留学。テムズ川の交通史について研究。帰国後、昭和63年学習院大学大学院人文科学研究科博士前期課程ご修了。平成4年からは学習院大学史料館客員研究員として研究活動をつづけられている。

第150回 校友会「月例会」でご講演

平成17年2月10日 霞会館にて



人と人を結びつける海の道。
その果たしてきた役割に
あらためて思いを寄せる。



第150回 桜友会「月例会」

平成17年2月10日 霞会館にて

てさせていただきますけれど、必要に応じて史料、地図なども参照していただければと存じます。それでは、まず、交通という観点から瀬戸内海地域を眺めてみたいと思います。

申すまでもなく瀬戸内海は、日本の西部に位置しておりまして、本州、四国、九州という日本列島を形成する島々に囲まれて穏やかな水域を形成し、製塩地、森林地帯、農産地をそのヒンターランドとして持ち、長く都が置かれておりました京都をはじめとした高度に都市化した地域に接していたことから、古来より物資流通の大動脈として機能してまいりました。それでは交通史でもなぜ私が、中世の瀬戸内海の交通を研究してみようと思うようになったか、その点についてお話ししましょう。

それは、ある史料との出会いがきっかけでした。その史料とは、京都の歴史研究者である林屋辰三郎氏が昭和39年に京都市内の古本屋で偶然発見されたもので、たまたま私は、林屋氏からこの史料がまもなく活字になることを、卒業論文の準備段階でうかがっていました。大学であれこれ史料を見るにつけ、中世の海上交通が交通史の研究分野ではまだ未開拓であることを知った私は、水上交通を研究するのであれば瀬戸内海を対象地域として取り上げようと思っておりましたので、この史料の刊行は実に私の研究にとりまして有益なものでした。この史料は「兵庫北関入船納帳」と命名されておりましたが、15世紀中期の文安2年、西暦では1445年にあたりますけれども、この1445年に奈良の東大寺が関税

今日は、私にこのような機会をお与えいただき、まことにありがとうございます。私は、大学入学以来、交通史——とりわけ人と人とを結びつける「道」に関心がありまして、今日まで日本中世の交通、およびオックスフォード大学留学中には、18世紀におけるテムズ川の水上交通の問題について研究してまいりました。

私が、道というものに興味を持つようになりしたのは、私が住んでおります赤坂御用地の中に、鎌倉時代の道が通っていたということを知ったことです。この霞ヶ関ビルの竣工は昭和43年と聞いておりますけれども、私の道との出会い

はその少しあとのように思います。その道への関心は、小学生の高学年のおりに母とともに読破しました芭蕉の『奥の細道』でさらに深められ、大学の卒業論文では、古来より水上の道として重要な役割を果たしてきた瀬戸内海の海上交通史をまとめることになりました。

そこで、今日は、私の限られた知識ではありますが、今まで研究してきた日本中世の瀬戸内海の海上交通の話、兵庫の港を中心にお話ししてみたいと思います。今日お話しするのにあたりまして、お手元にレジュメと図表、史料をお配りしてあると思います。今日のお話はこのレジュメにそっ



皇太子殿下ご講演録

中世における 瀬戸内海水運について

兵庫の港を中心に見て

を徴収する権利を持っていた兵庫北関に入港し、通関手続きをした全船舶の1年間にわたる詳細な記録であり、14世紀中ごろの北ドイツのリューベック港での輸出入関税記録と並んで世界的にも貴重な記録と評価されており、お手元にお配りしています史料が「兵庫北関入船納帳」の一部のコピーであります。ちなみに、兵庫北関の所在地は、現在の神戸市兵庫区和田岬付近と推定されており、天平時代の行基が作りました大輪田泊、今年のNHKの大河ドラマ「義経」でもおなじみの平清盛が都を移した福原もこの近辺と思われ、古来、港として重要な役割を果たしてきた地域です。この地域を襲った阪神淡路大震災から10年目にあたる今日、被災された皆さんの復興へのご労苦にあらためて思いをいたしたいと思えます。

ここで少しばかり、この史料について述べる上でのバックグラウンドとして、中世の物資流通についてお話ししたいと思います。ちなみに今日の話の中で「中世」といいます場合、現在の学会ではほぼ定説となっています11世紀後半の院政の成立から16世紀末の戦国の争乱までを考慮の対象といたします。中世前期における物資流通の主要なものは荘園年貢でありました。荘園制度とは、当時の社寺・貴族等の大土地所有の一形態です。したがって、荘園の領有者が京都、奈良周辺に多いことは自明なことであります。具体的な数値としては、伊勢神宮が、鎌倉時代の末期に10000有余、東大寺が約50、東寺が30余りの荘園を領有し、貴族の例として、近衛家が13世紀に150

余りを持っていたといわれています。近年の研究では、荘園制度はほぼ12世紀初頭までには成立していたとみなされており、16世紀後半まで存続します。荘園年貢は、米が主体ですが、ところによっては、塩、絹、綿、鉄等であり、荘園年貢の「年」の文字があらわしているところ、年に1回、ところによっては2回ということもあつたようですが、そういつた割合で領主のもとへ送られていました。例えば後で触れますが、塩を年貢とする荘園は、瀬戸内海地域に多く見られますし、米を年貢に出す荘園もその数が多いのであります。これに対し、東日本の太平洋側の荘園、および内陸部の荘園からは、絹、綿等の軽量の年貢が上がっています。また、北陸道、すなわち日本海の沿岸地域からは多くの米が荘園年貢として納められております。これらのことから、瀬戸内海および日本海側は重い物資を大量に輸送できる海運が活発であったのに対し、東日本の太平洋側の海運は、遠州灘であるとか、熊野灘であるとか、そういった地域の自然的な要因により、余り発達していなかったとする説が有力です。

荘園の領有者はこのようにして上がって来る年貢で生計を立てていたわけであり、荘園の経営方式を見てみますと、通常、「領主」である領有者は、直接には現地に赴かず、代わりに代官を派遣し、送付される年貢の徴収、輸送の責任を負わせていました。また、12世紀後半に成立した武家政権である鎌倉幕府は、荘園内に、年貢徴収のための土地管理、警察の役割を目的に、地頭を置き、領主と地頭との対立がこれ以

降起きることとなります。代官および地頭といった荘園の在地における有力者は互いに対立しながらも次第に勢力を拡張し、年貢物を現地に留め置き、領主のもとに送られる年貢の絶対量は必然的に減少いたしました。それとともに、13世紀末以降地方の生産量が増大し、物資に余剰が生じ、貨幣が流通するにともない、地方の物資は現地に於いて商品化され、商品の輸送と商人の往来が、荘園年貢物を圧倒して、交通界の主流を占めるにいたるわけです。そうなりますと、荘園領主としては、自己の生計を立てる財源を荘園からの年貢以外のところに求めねばならなくなり、ここに、港湾や交通量の多いところに関所、すなわち私設の税関を設置して、通過する船舶の積載している商品に対して課税、すなわち関税をかけた収入を得ることとなります。

今日これからお話ししようとしている、「兵庫北関入船納帳」は、まさにこの関所で徴収された関税の帳簿であり、今日風には、税関の納税台帳ともいえるものです。すなわち、林屋辰三郎氏が発見された「兵庫北関入船納帳」は、東大寺が兵庫の港に領有していた兵庫北関に入ってきた船舶からの文安2年(1445)3月3日から翌年の正月10日にかけての関税徴収の帳簿でありまして、すでに別本として東京大学文学部に伝来している同年の正月2日から2月9日分と合わせますと、文安2年1月から翌3年の1月にかけての1年間の瀬戸内海の物資流通形態が克明に読み取れます。実際に、林屋氏の発見された史料と東大文学部の史料は、両者が合わり、昭和

56年に中央公論美術出版から『兵庫北関入船納帳』と題して出版されました。これから見ていたく1の史料もその本からのコピーで、これは、文安2年の10月3日から7日の部分であります。ところで、これからは、「兵庫北関入船納帳」のことは「入船納帳」の呼称で呼ばせていただきますが、この「入船納帳」には、入港船の総数はもとより、瀬戸内海沿岸のどの港から、誰の手によって、どんな種類の物資がどのくらいの兵庫の関所に入ったか。また、それにどのくらいの関税が掛けられたか、そして関税の徴収者の名前が1年間を通し克明に記載されています。史料をご覧いただきたいのですが、この史料の1段目には地名が記載されていますが、これは、兵庫北関に入港した船舶の船籍地であります。船舶の所属地といってもいいかもしれません。宇多津は現在の香川県丸亀市と坂出市のほぼ中間に位置する町ですし、下津井は岡山県の児島半島の先端、瀬戸大橋の起点となっている町です。詳しくはお手元の地図を参照していただければと存じます。また史料の方に戻りまして、下津井の次に地下と読める地名が出ておりますけれども、これは地元の兵庫を意味いたします。そしてこの兵庫の船籍の船の入港回数が「入船納帳」では一番多く記録されております。2段目には積載品目と数量が記載されています。備後とか小嶋といった地名を冠した品目は、その地域で生産される塩を意味します。3段目には船から徴収された関税額で、その脇に書かれている日には東大寺への関税の納入日であります。4段目は船主で、こ

れには実際に船を操船した船頭も含まれていると思われる。5段目は関税を徴収し、輸送されてきた物資を販売することなどを手がけた問丸と呼ばれる人々の名称です。この問丸については後で詳しく触れたいと思います。ですから、この史料の読みとしては、1行目を例にとりますと、文安2年の10月3日に宇多津に船籍を置く船により、備後塩100石が船主である孫左衛門により運ばれ、備後塩に課せられた545文の関税が問丸法徳により徴収され、その関税は10月12日に東大寺に納められたということとなります。

「入船納帳」によりますと、兵庫北関への1年間の入港隻数はのべ1960、それらの船籍は瀬戸内海沿岸諸国を中心に、摂津、播磨、備前、備中、備後、安芸、周防、長門、淡路、讃岐、伊予、阿波、土佐、豊前の各地にわたっており、107箇所におよびます。次に2の表をご覧いただきたいと思うんですけれども、商品別に入港物資量を見てみますと、塩が最大で10万700石余り、米が3万2000石余り、木材が3万7000石余りと数量の上では3大物資になるほか、麦、大豆等の穀類やなまこや鯛等の海産物、阿波の藍や、燈明の燃料としての荏胡麻、鉄、壺等も含まれております。

一瞥して、塩が圧倒的に多いことが分かりますが、塩だけを運んでいる船と塩と他の物資を併せて運んでいる船を合わせると1960艘中918艘に上り、全体の46・8%とほぼ半数が塩を運ぶ船でありました。ちなみに史料に見る塩の総量は約1

00万人分の需要を満たすことになりました。このことは、当時の瀬戸内海地方がいに製塩業に適した場所であったか、また、当時、塩が食料保存のためにいかに多く使用されていたか、またさらには、これらの膨大な物資を消費する市場としての京都およびその近郊の人口増大を考える必要がありましよう。瀬戸内海地域が製塩に適している理由として、まずひとつに潮の干満の差が大きいこと。2番目として晴天が多く降雨量が少ないこと。3番目として花崗岩質の地盤が塩を作る塩浜に適していること等があげられます。なお、塩の流通について付け加えるべきこととして、「入船納帳」では、先程お話ししましたように、商品としては塩のみが生産地域の呼び名で呼ばれていることでもあります。備後、小嶋、三原、塩飽などがそれです。これをかりに銘柄と見ますと全ての塩が銘柄別に流通ルートに乗って取り引きされていたと見ることもできます。

次に米は3万2000石余りであり、輸送量を季節的に見れば、3月、4月と11月、12月が多くなっています。米は、塩のように銘柄の記載がないため生産地の特定は不可能ですが、讃岐・豊前に船籍を持つ船で輸送されるケースが多いため四国・九州産の米が量的に多かったと思われる。九州が米の産地であったことは九州の荘園からの年貢は圧倒的に米が多かったことからうかがえます。興味深いことには、史料で8月は米の輸送が少ないのですが、8月13日、これは新暦では9月14日にあたりますけれども、尾崎船籍の船が「新米5石」を



皇太子殿下ご講演録

中世における 瀬戸内海水運について

兵庫の港を中心に見て

積んで入港した記録があり、米の輸送が最も少ない時期に新米の流通に強い関心が払われていることを示しています。現在でも新米がいつ出るかは新聞に出るわけですが、中世のこの時代から新米の流通に関心が払われていたことは興味深いことでありましょう。なお、米に混ざって「赤米」と記載された米の輸送が見受けられます。赤米は東南アジア原産で中国の宋の時代に日本に入ってきた模様です。収穫は多く、虫の害、ひでりに強いとされ西日本に急速に普及していったとされていますけれども、従来は、商品ルートには乗らなかったと考えられておりました。しかし、この「入船納帳」の発見により、数量は限られますが、赤米が流通ルートに乗っていたことが分かります。生産地の特定は困難ですが、輸送船舶の船籍から見ると讃岐が生産地の一つであったと思われます。なお、日本では、お祝いの食卓に小豆を入れた「赤飯」は欠かすことのできないものです。これは、かつて、日本で赤米を食べていた名残と聞きますが、このあたりのことは、どなたかご教示願えれば幸いです。

木材の輸送量も非常に多いのが特徴です。木材の輸送は、月別30000から40000石とコンスタントに行われています。3の図を見ていただきたいと思いますが、1尺、そして長さ1丈、これを当時木材の1石というふうに呼んでいたようであります。史料では、淡路島船籍の船が多く輸送していますが、これは、四国東岸地域の木材と思われる。阿波南部から土佐の東部

にかけての山間部は、高温多湿と適度の陽光のため現在でも木材の生産にはもってこの地域となっております。おそらく山間部で切り出された木材は筏に組まれ川を下り、最寄りの港から搬出されたことでありましょう。それでは、なぜこれ程多くの木材が四国を中心とした地域から供給されたのでありましょうか。一つは、14世紀半ばの室町幕府の成立に伴う京都の人口増加があげられます。

これらのことは先にあげた塩と米の輸送にも関係することですが、京都の当時の人口について、正確なデータはないものの、16世紀の半ばで5万から6万人と推測されています。京都は、従来は天皇や公家の住む政治都市でありましたが、14世紀にいたる武家政権である室町幕府が鎌倉から京都に移り、また、近従者である守護も兵力も率い、在京を義務づけられていたことから、京都の人口は、幕府移転を境に急激に増大するわけです。要因の2つ目として、京都近郊の木材資源の枯渇があげられます。それは、14世紀の南北朝の内乱によるこの地の戦場化と、植林技術の乏しさに起因します。これは、要するに、京都近郊の木材資源の枯渇により、四国東岸地域からの木材への需要が生じたという、いわば環境問題が当時からあったことをうかがわせる興味深い事実であります。3つ目の要因は、「大鋸」と呼ばれる二人びきの鋸の登場です。4の図の説明にもありますように、この鋸は南北朝期に中国から伝来したといわれておりまして、これにより大量の木材の製材が可能になったわけです。

以上の三大流通物資以外では、壺、すなわち備前焼も年間1215個が備前の伊部・方上の船で運ばれております。面白いことには、備前焼の流通期間が、6月から9月に集中していることであり、これは、備前焼の生産が専門化しておらずに、農閑期に農民によって生産されていたことをうかがわせます。海産物では、なまこ、海老、鯛、いか、かに、あらめ、わかめ、鯛等があります。中でも小鯛の流通は多く、これが食用にされたのか、肥料にされたのか今後の研究の待たれるところであります。この他、阿波の国から染料としての藍がわずかですが、輸送されていた事実の発見も貴重なものです。藍は従来は、16世紀半ば以降、商品として出回っていたといわれていましたが、この史料の発見によりその時期は、約1世紀遡ることとなりました。このように産業史の上でも現在にいたる特産物がこの時期に定着してくる事実も見逃してはならないことです。

以上、兵庫北関へ入った船の積載物資について概観しました。

それではここで、海から兵庫の港に目を移し、これらの積載物資を取り扱った問丸について触れてみたいと思います。「入船納帳」では、1の史料の最下段の人名が問丸となっております。彼らは兵庫北関へ入る物資から、関税を徴収し、あわせてこれらの物資の保管や委託販売、輸送などを手広く行っていたと思われる。この問丸が発展し現在の問屋になるわけです。兵庫北関の問丸は52名を数え、荷物の扱う量が多い有力な問丸は、独占的または優先的な集荷

圈を持っていた模様です。例えば5の表に見える北関の間丸として物資の取り扱ひ量が最大の道祐は、備前国下津井、備中国連嶋、伊予国の弓削、この弓削は現在の愛媛県弓削島であります。取り扱ひ量が次に多い木屋は淡路国の由良、また、道念は、讃岐国の嶋、この嶋というのは小豆島です。こういった地域からの物資などをそれぞれ独占・優先的な集荷圏としていました。また、間丸の取り扱ひ物資については、規模の大きな間丸は多様性があるのに対して、中規模以下の間丸は塩や木材などを専門に扱うといったように、特定物資に集中する傾向にあります。

兵庫の港は、室町幕府が行った対中国貿易の拠点でもありました。この船は遣明船として知られており、明と日本との間に正式な通関関係が開かれた1401年以降1547年までの150年の間に17回ほど派遣されています。船の大きさはかなり大きく、1000から2000石積みの船もあった模様です。ちなみに、当時の1000石は今日でいう約150トンと考えていただければ結構です。これらの船には、日本から中国へは銅・硫黄・太刀・扇等を積み出し、明からは生糸・羅紗・陶磁器・虎や熊の皮等が日本にもたらされました。また、この貿易の結果、日本には大量の明の銭が入り、これが国内で流通しました。遣明船の航路は、兵庫から瀬戸内海を経て博多にいたり、そこから五島列島に出て季節風を待ち、一気に東シナ海を横断して中国の二ンポウ(寧波)付近に着岸したといえます。このことから、当時の兵庫の港が、国内

交通にも海外との交渉にも重要な役割を担っていたことが分かります。

このように、兵庫の港は、ほぼ15世紀半ばまでは京都近郊の外港として、国内でも最大規模の港湾として存在しました。しかし、15世紀半ばの京都を中心とした守護の間の争いである応仁の乱は、兵庫にも飛火し、この結果、兵庫が現在の大阪府内の堺にとって代わられることとなるのであります。堺が発展し得たのは、そこを領有した細川氏が、瀬戸内海の広い地域にわたり領国を持っていたことにも関係がありましよう。堺は、その後、中国との勘合貿易の基地として、また、国内物資輸送の陸揚げ地として発展し、当時最大の港湾都市として、商人の自治により運営されていきました。16世紀に、ポルトガル人により日本にもたらされた鉄砲も、この堺が主要生産地となっていくます。しかし、堺の自由都市としての発展は、16世紀後半の織田信長、豊臣秀吉により抑えられてしまいます。

次に輸送手段としての船舶について触れてみたいと思います。7の資料をご覧ください。だいたいと思います。室町時代の船と書かれています。中世初期の船舶は桶、杉、桧などの大木をくり抜いて作る準構造船と呼ばれ、くり船形式の船が主でありましたが、14世紀、15世紀初頭には、部分部分をつないで作り上げる構造船と呼ばれるより大型の船舶も作られるようになります。大きさについては、15世紀半ばの先の「入船納帳」によれば、1000石以上を積載した船も見受けられ、大型船舶も航行していたことがうかがえます。これらの船

が帆船であったことは既に知られております。中世の初期には、帆の部分は固定しており順風時のみ航行可能でありましたが、やがて15世紀初頭以来帆の上下、帆柱を起こしたり倒したりすることが自由になりました。なお、帆は、17世紀前においては、草を編んだ物でありましたが、それ以降は木綿帆が使用された模様です。帆を使用したと申しまして、中世の船は手漕ぎで進む場合も多く、船を漕ぐ船員も多く乗っていたようでありまます。船の大きさについては若干蛇足を加えますが、「入船納帳」を見ますと、阿波国の船でも北部と南部では、船の大きさが著しく違います。北部は小型船が多いのに対し、南部は比較的大型船です。この点は以前に徳島県に行き、船で実際に徳島市から海上を南下して行く過程でその理由が分かりました。すなわち、徳島県でも北部地域は紀伊水道に属し、海上の波もそれほど高くはないのに対し、南部は太平洋に出て、波も高い。この違いが船の大きさの違いとなつてあらわれてくるのではないかと思います。ちなみに中世では船の遭難は多く、一例をあげますと、九州の福岡県にある宗像社は、鎌倉時代には、社の関連の一連の建物全ての修理が、付近の浜辺へ打ち上げられる遭難船の木材および没収した荷物の売却代金で賄われていたといえます。

最後に輸送業者と海賊の問題に触れたいと思います。荘園制下においては輸送業者は、荘園の領有者から給料としての給田をもらい、荘園年貢の輸送に従事していましたが、これは、荘園制度の崩壊とともに商



中世における 瀬戸内海水運について

兵庫の港を中心に見て

人的な色彩を帯びた輸送業者として成長してきます。いろいろな史料を見ていきますと輸送業者の呼称が、「かじとり」と呼ばれていたのがやがて「せんどう」と変化をしていきますが、それは、今お話しした輸送業者の性格の転換期と期をほぼ一にしておきます。「入船納帳」を見る限り、輸送業者の詳細は分かりませんが、その土地の有力者が担っていたことも十分に考えられ、また輸送業者の間でも、大型船を持ち配下に輸送業者を抱える船主とそうでない船主とが確認でき、一定の階層分化が見られます。瀬戸内海を航行する輸送業者は、港に立ち寄る際には、関所に寄港し、関料である関税を払うことを義務づけられていたのですから、関所の存在は輸送業者にとつては障壁でありました。これは瀬戸内海の例ではありませんが、大阪の淀川では、15世紀半ばに淀川沿いに400ほどの関所があったといえます。淀川を通る船がこれらの関所全てに関料を払わねばならなかったということはにしても、関所が交通の阻害要因であったことは確かでありました。

それと並び、海賊の存在も輸送業者にとつてはまさに脅威でありました。ことに瀬戸内海は島が多く海賊の住処としては絶好の場所であり、彼らの中には、中国や朝鮮半島沿岸部にまで行き、略奪をするものもありました。俗に倭寇といわれる集団です。こういった状況に対し、輸送業者は、迂回路を通るか、船団を組み航行するか、あるいは、夜間に航行するなどして対処するよい方法はありませんでした。また、このよ

うな中にも海賊側と輸送業者側での妥協も見られました。すなわち、瀬戸内海では、室町時代には東から西に航行する船は東部地域の海賊を船に乗せておくと西の海賊はこれを襲わず、西から東に行く場合にはその逆で西の海賊を乗せておくと東の海賊はそれを襲わないという取り決めがあった模様です。そして彼らは警護料としての収益を得るのです。6の史料をご覧いただきたいと思います。これは、先程、問丸のところで触れた伊予国弓削島についての史料です。貞和5年というのは1349年で南北朝時代にあたります。弓削島には、京都の東寺が領有する荘園があり、この史料は、東寺から弓削島に派遣された使者の接待にかかる経費を、弓削島の代官が書き上げた文書です。後ろから11行目に「敵方猶不退散」と読めますのはおそらく海賊を指すと思われる。そのために、警護が必要であり、兵糧や酒肴の費用が支出されています。酒肴料が支払われた「野嶋」は、村上水軍の一派である能島村上氏に関係ある人物と思われる。野嶋はここでは野原の「野」を書いておられますけれども、今は能力の「能」の字を使って呼ばれております。ここから、村上水軍に関係ある人物が警護にあたり、その報償として酒肴料を受け取った事実が見取れます。もともと、海賊といいますが、やがて、室町幕府の守護の配下に入り、新たに組織しなおされていくこととなります。

以上、室町時代の兵庫の港を中心として、瀬戸内海の水運の点描を試みてみました。

私の専門としています海の道としての瀬戸内海は物資の流通という面からだけ見ても、人と人とを結ぶ重要な役割を果たしていたのではないかと思います。そして、それは、私たちが想像する以上に中世という俗に閉鎖的といわれている時代にあっても、活発でダイナミックなものがあつたと思います。海外貿易の出発点もこの瀬戸内海でありました。フランスの著名な歴史学者、フェルナン・ブローアルはその著書「地中海」で、地中海の歴史をひもときつつ、海は人と人とを隔てるものではなく、結びつけるものであるということを述べております。今日の私の話の中から、人と人とを結ぶ海の道の果たしてきた役割の重要性を少しでも感じ取っていただければ幸いに存じます。

ご清聴ありがとうございました。

「中世における瀬戸内海水運について —兵庫の港を中心に見て」参照資料

- (1) 史料／「兵庫北関入船納帳」林屋辰三郎編（中央公論美術出版・昭和56年）
- (2) 表／積載商品表「一五世紀なかば瀬戸内海における商品輸送と港湾」神木哲男（『日本水上交通史論集』第三巻「瀬戸内海上交通史」文献出版・平成元年）
- (3) 図／木材の1石の図（1尺＝約30cm、1丈＝約3m）
- (4) 図／大銀の説明図「朝日百科・日本の歴史5 中世Ⅱ」（朝日新聞社・平成元年）
- (5) 表／主要船籍地と問丸の関係「「兵庫北関入船納帳」の一考察」徳仁親王（『交通史研究』第八号・昭和57年）
- (6) 史料／「東寺百合文書」（『日本塩業体系史料編 古代・中世編（一）』日本専売公社・昭和49年）
- (7) 資料／船体の基本構造の変遷「図説日本文化の歴史6 南北朝・室町」（小学館・昭和55年）
- (8) 地図／「兵庫北関入船納帳」から見た瀬戸内海の商品流通地図「朝日百科・日本の歴史5 中世Ⅱ」（朝日新聞社・平成元年）

第150回 桜友会「月例会」 記念パーティー

ご講演後の皇太子殿下を囲んで

第150回「月例会」の講師をお願いした皇太子殿下には、ご講演後の懇親パーティーにもご臨席いただいた。

40分間にわたるご講演の名残が
会場の空気を引き締まったものになしながらも、
そこは記念の宴、時が経つにつれて
笑顔がいっぱいのなごやかな雰囲気。



桜友会高森事務局長の司会で記念パーティーが幕を開けた

平

成17年2月10日、18時より霞会館で
開催された第150回桜友会「月例

会」。記念の会の講師をお願いした皇太子殿下の演題は、殿下が大学時代からご研究をつづけているテーマで、「中世における瀬戸内海水運について——兵庫の港を中心に見て」。お忙しい中、学術的史料やレジュメをご用意いただいたの本格的なもので、約200名の受講者一同興味深く拝聴させていただいた。特に物資流通の史料から人と人とを結ぶ「道」の役割に着目し、その重要性をご指摘になったまとものお言葉は心に残るものとなった。

ご講演後は記念パーティーの席へ。桜友会草刈副会長のご案内で皇太子殿下が姿を現すと、満場の拍手と笑顔。司会進行を担当した高森邦彦事務局長の一声で記念パーティーが幕を開けた。「月例会」担当の小野田博副会長のお礼と歓迎の挨拶につき、桜友会名誉会長の島津久厚前学習院長が乾杯の挨拶。皇太子殿下には、その後の歓談タイムにもご臨席いただき、受講者にとって忘れられない一夜となった。

この「月例会」、1・8・12月を除く毎月第2木曜日に霞ヶ関ビル34階の霞会館で開催されており、第151回は3月10日に読売テレビ解説委員の岩田公雄氏(昭49法)が、第152回は4月14日にヴァイオリニストの徳江尚子氏(昭36女中)とピアノリストの徳江陽子氏(昭41女中)が講師を担当。第153回は5月12日に長崎国際大学教授の青木孝誠氏(昭30英)が登壇の予定。開会/18時。会費/男性4000円、女性3500円(軽食と飲みもの付き)。

問合せ/桜友会事務局

☎03・3988・3288。

特別講師をお願いした
皇太子殿下とともに祝った
150回目の「月例会」
盛大に、なごやかに。



桜友会草刈廣副会長のご案内で皇太子殿下が入場



一人一人と笑顔で接する皇太子殿下に一同感激



第1部のご講演前に挨拶する亀井弘桜友会長



桜友会名誉会長の島津久厚
前学習院長が乾杯のご発声



「月例会」担当の小野田博
副会長がお礼と歓迎の挨拶



閉会の挨拶をされた村上智也
副会長。「楽しい一夜でした」



ご講演内容の話題で盛り上がったパーティー会場



花束贈呈のあとのサプライズイベント「学習院煎餅」の贈呈

Photo/Hideki Shiozawa

三年式年祭記念出版

高円宮憲仁親王

高円宮殿下伝記刊行委員会編



皇室と国民、
伝統と現代、
日本と世界――
架け橋を目指して
疾駆された
48年のご生涯

菊判クロス装貼函入り
DVD付(専用ケース入り)
本文768頁/カラー口絵20頁
定価12,600円(税込)

三笠宮妃殿下の育児日誌〈暁乃終〉を初公開
ご家族、恩師、友人、同僚、関係者への徹底取材
読売新聞のベテラン記者による多面的・多層的な記述
秘蔵の写真で宮さまの素顔を紹介

DVD『素顔の高円宮さま』(発行・NHKエンタープライズ、製造・ソニーPCL)付



6/25発売 予約受付中

高円宮殿下伝記刊行委員会
幹事
安西 孝之(日本体育協会会長)
出井 伸之(ソニー代表執行役会長兼グループCEO)
稲盛 和夫(京セラ名誉会長)
海老沢勝二(日本放送協会前会長)
奥田 碩(トヨタ自動車会長)
渡邊 恒雄(読売新聞グループ本社会長・主筆)
実行委員
阿川 弘之(作家)
川淵 三郎(日本サッカー協会会長)
近衛 忠輝(日本赤十字社副社長)
千 宗室(茶道裏千家家元)
中村 絨子(音楽家・ピアニスト)
永山 武臣(松竹会長)
藤井 宏昭(国際交流基金顧問)
牧 阿佐美(新国立劇場舞踊芸術監督)
赤井 三夫(『素顔の二階』写真展プロデューサー)
本多 大介(前高円宮付宮務官)
山之内恭子(元高円宮付侍女長)
内山 齊(読売新聞グループ本社社長)
滝鼻 卓雄(読売新聞東京本社社長)
中村 仁(中央公論新社会長)
早川 準一(中央公論新社会長)
小島 敦(読売新聞東京本社調査研究本部長)
(平成17年3月31日現在)

ご予約・ご注文はお近くの書店、または下記へお願い致します

お申し込み・お問い合わせ先

中央公論新社 特販部 TEL 03-3563-1431 (月～金10:00～17:00受付)

〒104-8320 東京都中央区京橋2-8-7 FAX 03-3567-3904 (24時間受付)

お申し込みの際はお名前・ご住所・電話番号をお伝え下さい ※ご提供いただいた個人情報は配達以外の用途で使用致しません
発売後、宅配便にてお届け致します。代金は商品と引きかえにお支払い下さい

桜友会通信

2005.5.1

会員の皆様相互のコミュニケーションの場です。

STAFF ROOM

『桜友会報』編集室より

『桜友会報』をリニューアルいたしました。

桜友会の会則に、桜友会の活動の柱として「相互親睦」「母校の支援」「社会貢献」の3つがうたわれていますが、「桜友会報」も、この精神をふまえながら、より良い誌面づくりを目指していきなさいと考えております。

今回のリニューアルは、多くの人にじっくりと読んでもらえるものを、ということと、体裁を一新いたしました。読み捨てされがちな会報ですが、保存性ということも考慮に入れ、内容面でも工夫を重ねてまいります。

本号では、桜友会「月例会」の150回目の講師としてご登壇いただいた皇太子殿下のご講演録を掲載させていただきますことができました。ご尽力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。読みごたえたっぷりの内容で、核となる読みものがほしいというご要望には十分お応えできたのではないのでしょうか。

また、会報の役割として、会員相互のコミュニケーション機能を果たすという重要な使命がありますが、こうしたことについても、皆様のお知恵をお借りしてより良い方向性が見出せるよう努力してまいります。

催事の報告や告知もできるだけ掲載をするつもりですが、会報の発行が春・秋の年2回という条件もあり、催事の日程と発行日との関係で掲載できないものもあり、今回失礼をした方々もいらつしやいます。申し訳なく思っております。

こうしたことについては、今後「桜友会ホームページ」の充実を図りながら解消できればと考えております。皆様のご理解を賜われれば幸いです。

最後に、本誌の広告ご協賛に多大なご協力いただきました各企業・団体、また個人の皆様に厚くお礼を申し上げます。

<情報発信委員会>

委員長/吉江隆信 (昭50仏)
委員 内藤頼誼 (昭29高)
安田 正 (昭30高)
松尾文夫 (昭31政)
三富哲也 (昭32政)
高澤 寛 (昭35経)
後藤昭彦 (昭38政)
山田 登 (昭38政)
児玉茂幸 (昭39経)
杉 肇子 (昭39哲)
鈴木昌明 (昭41法)
朝来野静子 (昭42英)
林なおみ (昭42数)
小田賢太郎 (昭45経)
鈴木寛子 (昭46短英)
長谷川かず子 (昭47短英)
善利秀臣 (昭48経)
鈴木紀久子 (昭51仏)
石川悦也 (昭52高)
近藤麻紀 (平3短家)

桜友会定時総会 開催

日時 5月19日(木) 18時より

場所 学習院創立百周年記念会館

定時総会を次の通り開催いたしますので、ご多用中恐縮ながらお差繰りご出席下さいますようお願い申し上げます。

議題

- 1 平成16年度事業報告
- 2 平成17年度基本方針及び事業計画案
- 3 平成17年度収入・費用予算案
- 4 平成17年度役員選出の件
- 5 その他

☆お手数ながら、同封の出欠はがきを5月16日(月)までにご返送下さるようお願いいたします。

☆正会員中ご欠席の方で別段お申し出のなかった方につきましては、当日の議決権を議長に委任されたものとして取扱うことをご了承下さい。

☆総会後会食懇談をいたします。

会費 1000円

(当日受付で申し受けます)

平成17年5月1日

桜友会会長

亀井 泓

会員各位

4月2日宮崎桜友会が 島津邸での観桜会開催

宮崎桜友会では4月2日に本年度活動第1弾「島津邸での観桜会」を開催いたしました。あいにくの曇り空で、時々小雨模様ではありましたが、都城歴史資料館で全員合流し、同館の「都城島津家のコーナー」をはじめ、島津発祥の地・都城の歴史をあらためて学習したあと、島津宮崎桜友会名誉会長のお宅



都城歴史資料館にて記念撮影

におじゃまし、お花見弁当を食べたり、広大な庭園を散策したりと、めったに経験できない機会でありました。

また、新会員・栗山和枝さんや家族会員3名のご参加、加えてホームページをご覧になった北九州桜友会の坂下庸平さんの特別参加もあるなど、大変な盛会となり、参加者全員が満喫できた1日でした。

このような企画を快くお受けいただいた島津名誉会長、島津家秘書の来住様にはあらためて深く感謝申し上げます。

ところで、活動第2弾は5月14日の「島津杯コンペ」です。既に事務局から案内発送済みで、現在出欠受付中です。多くの会員の皆さまの参加

をお待ちしております。

最後に毎度申し上げておりますが、桜友会・学習院の現状等を再認識いただき、今後ともさらに桜友会活動にご理解を賜り、多くの皆さまが積極的に参加いただきますようお願い致します。

第5回桜友会を開催 千葉桜友会

今回で5回目となる千葉桜友会が、1月23日に千葉市・海浜幕張の「ホテル ザ・マンハッタン」で行われました。準備の都合で今回は千葉市・市原市・習志野市に在住する桜友会員を中心に案内状を送付しましたが、約60名の会員が会場に集いました。

2部構成で行われた今回の会。第1部は千葉桜友会の山崎邦夫会長（昭31政）の挨拶に始まり、県内在住の村上智也桜友会副会長（昭31政）が桜友会の近況を報告。同じく県内在住の宗像源光学校法人学習院事務局長が学校の近況報告をし、ミニ講演会へと移りました。講師として登場したのは、産経新聞千葉総局長の佐伯浩明氏（昭44政）。「これで良いのか日本」をテーマに、国際問題や教育問題などをジャーナリストの立場から話されました。

桜友会全国・海外支部連絡先 (平成17年4月現在)

支部名	世話役氏名	自宅電話	支部名	世話役氏名	自宅電話
ハワイ	柏原 恵理 (昭58党)	1-808-531-0624	富山	朴沢 真理 (昭44短国)	076-492-4833
カナダ	稲垣 長映 (昭24高)	1-604-986-5509	石川	知生 (平5党)	076-264-0161
サンフランシスコ	戸田 美幸 (昭56数)	1-415-441-4041	福山	内藤 俊三 (昭46数)	0778-34-0782
ロサンゼルス	ヒグチ 雅子 (昭59清)	1-323-467-5066	山梨	常盤 幸夫 (昭58化)	055-284-4696
シカゴ	原嶋 正孝 (昭34高)	1-847-446-1750	長野	木内 春夫 (昭46経)	026-221-5017
ニューヨーク	馬越 恭弘 (昭50経)	1-212-688-4358	静岡	飯野 昭彦 (昭39経)	054-258-5213
ワシントン	(会) CLOSE美佐子 (勝山) (昭36英)	1-301-262-3946	東海	後藤 安邦 (昭40経)	052-832-5160
ロンドン	富松 利典 (昭53政)	440-208-737-4401	関西	益田 英之 (昭38化)	072-694-5990
パリ	岡部 昌史 (昭51仏)	33-1-4260-7510	山陰	吉田 千宏 (昭39政)	0859-22-9214
オランダ	正田 敏郎 (昭61法)	31-10-458-3568	岡山	有松 宣宏 (昭42政)	086-264-5769
ベルックス	寺尾 実栄子 (昭30物)	32-10-45-1837	広島	小波 賢太郎 (昭45経)	082-282-6257
ミュンヘン	(会) Koerber H.房子 (昭37英)	49-08151-51179	山口	波多野 知三 (昭40物)	0836-31-5535
バンコック	竹内 正 (昭48政)	66-2-391-4382	四国	服部 光成 (昭32経)	087-876-2018
シンガポール	小田 康人 (平4党)	65-338-0388	香川	藤村 和宏 (昭59経)	087-843-2792
マニラ	松岡 鉄也 (平5法)	63-2-818-1992	徳島	黒田 浩司 (昭58経)	088-655-7190
台湾	富田 啓一朗 (昭62党)	886-2-2872-3299	高知	石川 征晋 (昭41国)	088-832-4216
豪桜会	(会) 宮地 譲 (昭43物)	612-9326-2467	長崎	中村 福 (昭39政)	089-984-2239
ニュージーランド	(会) 生出 克彦 (昭62法)	64-9-373-5958	福岡	仲征 博己 (昭47法)	092-691-5077
香港	世良 田紀子 (昭60党)	852-2633-0550	北九州	中居 博己 (昭47経)	093-521-4405
上海	古茂田 木立 (昭58史)	0086-21-3886	平8政	中友 宣義 (平8政)	0952-31-2018
北海道	畑中 真澄子 (昭48政)	011-384-4386	平10党)	渡辺 宣義 (平10党)	095-820-3204
青森	兄玉 綾子 (昭50英)	017-741-5179	熊本	石原 光太郎 (昭44経)	095-371-2211
岩手	齋藤 健一 (昭45政)	019-653-1850	大分	伊勢 亜信 (昭41経)	097-546-5856
宮城	伊勢 昌一 (昭61英)	022-227-4367	宮崎	阿部 信一 (昭58法)	0985-59-1178
秋田	石井 博雄 (昭61党)	018-862-1138	鹿児島	富田 莞爾 (昭42経)	099-246-3110
山形	鈴木 正修 (昭58法)	023-623-5213	鹿儿島	安渡 田久 (昭51政)	098-850-5956
福島	小泉 充雄 (昭48法)	024-523-0901	沖縄	渡邊 琢仁 (昭38経)	098-540-6882
茨城	服部 充 (昭42化)	029-273-5989	東京中央	東 琢之健 (昭58経)	03-3643-0809
群馬	多々良 清 (昭47経)	028-622-6854	江東	笹本 健一 (昭50経)	0422-49-4655
栃木	宮内 隆右 (昭33政)	027-231-7597	新宿	村田 寿一 (昭38経)	0426-45-2327
群馬	川村 郁夫 (昭49法)	048-641-3125	府中	波島 茂章 (昭39政)	042-302-8329
神奈川	勝田 治雄 (昭45経)	043-227-2760	鎌倉	藤島 道 (昭35経)	0467-22-3849
新潟	藤田 彦 (昭54党)	045-625-0288	湘南	間宮 茂 (昭54党)	0466-22-2317
		025-269-3583			

各地に桜友会の輪をつなぐお世話役がいます。

続いて第2部は、会場を移して懇親会を開催。千葉桜友会顧問の吉野美江子氏（昭29短）の乾杯の発声でスタートし、和やかな雰囲気の中、交流が行われました。会の最後には、村上副会長が院歌を高らかに歌われ、再会を約して散会となりました。

千葉桜友会では夏にサッポロビール工場の見学会を現在計画中です。

新年会を神田川本店で 東京中央桜友会

2月1日、東京・神田のうなぎ料理の名店「神田川本店」で東京中央桜友会の新年会が開催されました。約50名の会員の参加で始まった今回の新年会では、最初に当地にある「おりがみ会館」の小林一夫先生に「おめでたい折紙の作り方」などに

ついて約1時間お話いただき、その後懇親会へと移りました。中條高德会長（昭27政）自らドイツの乾杯の歌を披露されるなど、華やかな新年会となりました。

定時総会と鎌倉散策 鎌倉桜友会

3月12日、御代川長谷店にて「平成17年度鎌倉桜友会定時総会並びに長谷大観音特別拝観会」が80名の会員の方々の出席を頂き開催致しました。総会では、来賓の亀井泓桜友会会長がご挨拶を述べられた後、選任された仙波二郎会長を議長として、平成16年行事報告及び収支報告、平成17年度行事計画が承認され、引き続き、会場に配布された新幹事・新役員候補者リストに基づき、役員改選の議案が諮られ、当総会に上程された他

の議案と併せ、満場一致で原案通り承認可決されました。昼食後、当会会員で、長谷寺運営役の斉藤保彦氏のご尽力により、長谷寺特別拝観が行われました。その後、有志で鎌倉文学館の見学など、鎌倉桜友会の第1回定時総会と周辺散策の一日が無事終わりました。

東京・渋谷で忘年会 シンガポール櫻星会 OBの会

1980年から1990年までの第2次石油不況、プラザ合意を経てバブル崩壊等の変動の時期にシンガポールに長期出張、駐在していた方々とご主人に帯同していた奥様方の集まりです。在星中にシンガポール桜友会を結成したメンバーで、それぞれが帰国後OB・OGとし

て集まっています。昨年12月6日東急百貨店本店イタリアンレストラン「タント タント」の忘年会は二木泰彦会長（昭35短）始め、中村正孝さん、舟崎さん、名取さん、磯野夫妻、齋藤直行さん、鈴木隆興さん他5名の計13名の参加でした（会員総数は23〜24名）。それぞれの近況報告では、年金生活を謳歌されている羨ましい方々、ボランティアで英語を教えている方、1週間に2〜3回もジャズダンスに興じ、身体を鍛えている方、熟年の年代でポート漕ぎの苦しい修業に励んでいる方等で種々のお仕事や人生の楽しみ方の奥義を示していただきました。

送別会を兼ねた例会 豪州桜友会

4月に帰任で日本に帰国され

るご夫婦会員の送別も兼ねて、2005年3月18日、シドニーで豪桜会の例会を開催いたしました。

この3、4月で日本に帰国される3名を含めて現在シドニーには22名の会員がおられ、1年ぶりの例会でしたが11名の方が参加されました。会員のシドニーは永住、企業からの派遣、芸術活動、大学での教鞭、国際結婚などと様々な理由からですが同窓の絆は強く当日の会話も弾みました。日本人全体ではシドニーには2万人を越える在留者がおられ、ニューヨーク、ロサンゼルス、香港、ロンドン、シンガポールに次ぐ規模で、日本人には馴染み深い土地柄です。

桜友会の方でシドニーにお越しの節は是非お声をおかけ下さい。

私たちの目指すものは、
正確・迅速で簡潔化
された二次情報です

- 当社は長年にわたる経験と豊富な実績に基づき、科学技術文献の加工・処理、即ち主として抄録作成、索引作成などを行い、情報検索のためのデータベース作りを行っております。
- 当社が対象とする科学技術の分野は広範囲にわたりますが、それぞれの分野に専門技術員を多数置いており、特許などの文献調査、翻訳なども併せてお引き受けしております。

どうぞお気軽にお声をかけて下さい

NTI
新技術情報株式会社
NEW TECHNOLOGICAL
INFORMATION INC.

〒105-0003 東京都港区西新橋1-22-10
西新橋アネックスビル4F
TEL 03-5157-0410 FAX 03-3502-9955
http://www.shingijutsu.com/
E-mail:shingijutsu@nifty.com

代表取締役社長 金川 頼行

<お知らせ>「神奈川桜友会」例会開催。日時/4月19日、18時30分。場所/横浜・ホテルニューグランド。講演/昭和シェル石油会長・新美春之氏。「湘南桜友会」総会・設立1周年記念パーティー。日時/5月14日、総会18時、記念パーティー17時30分。場所/藤沢・グランドホテル湘南。

学習院大学ソフトボール部と40年

「齋藤滋雄部長の退官を祝う会」

学習院大学ソフトボール部の部長、また監督として40数年にわたりご指導下さった齋藤滋雄先生が定年退職なさいまし

た。その長年の学習院大学ソフトボール部へのご尽力への感謝の会として平成17年2月26日に「齋藤滋雄部長の退官を祝う会」



上/多くの教え子たちと北グラウンドで記念写真。右下/まだまだ現役顔負けのバッティング。左下/ソフトボール部OB会長の青木貞雄氏(昭40経)が挨拶

を開催いたしました。

当日は午前中は現役対OB戦、午後は「退官を祝う会」と2部構成で、創立百周年記念会館小講堂で行われた祝う会には、約200名の方々が駆けつけて下さいました。会の参加者は、先生の人柄をよく表して、

現役の男子・女子各ソフトボール部員や卒業したてのOB・OGから、40年前の卒業生まで幅広い世代にわたりました。

齋藤先生は昭和32年に順天堂大学を卒業した後、助手として学習院大学に就職します。そして昭和36年に任意団体としてソフトボールクラブを創設し部長兼監督に就任しました。ここから齋藤先生の学習院でのソフトボール生活が始まります。齋藤先生と部員たちの活躍で順調に愛好会、同好会を経て、昭和49年に体育会運動部になりました。

昭和42年に、埼玉で行われた第22回国体秋季大会では数々の強豪を倒して優勝もしています。そして昭和55年には男子だけでなく、女子ソフトボールクラブの部長兼監督にも就任し、男子同様、昭和58年に運動部に昇格しました。

また、齋藤先生は学習院だけでなく、大学ソフトボール界の発展にも尽力し、全日本大学ソフトボール連盟副会長なども務められました。

そんな齋藤先生のために開いたこの会には、影の立役者である奥様にもご来場いただき、終始お二人を囲んだ暖かい輪ができていました。

齋藤先生、奥様、お疲れ様でした。そしてありがとうございます。

「速接会」親睦会を開催

速記研究会OB会

速記研究会のOB会である「速接会」の有志が4年ぶりに11月20日池袋・サンシャイン60内のクルーズ・クルーズにおいて親睦会を開催いたしました。

4年前の大学祭に集まったOBや今回連絡のとれた方々、19名が集まりました。

九州、近畿、東海からの参加や現役2名の参加もあり楽しく盛り上がった会合になりました。

大学卒業以来35年ぶりに会った方や在学時代の速研顧問教授を思い出させそうな白髪になられた先輩、いつまでもお美しい女性陣、先輩より年上に見える後輩、昔とほとんど変わっていない同級生、そして若さあふれる現役生と世代を超えた交流ができました。

のちの2次会も東京の夜景を眼下に時間を忘れいつまでもとぎれることのない会話がはずみ、みんな学生時代の気分に戻りおおいに若返った日になりました。

次回も多くの方の参加を楽しみにしています。

連絡先 ☎/FAX 07998・52
・7037 松川安進(昭47経)

家族の心を
つなぐ暮らしへ。



つなぐ、つながる、ひろがる家

Laisonte
レゾンテ

お問い合わせ・資料のご請求は

0120-321-406

ホームページ www.mitsuihome.co.jp

三井ホーム株式会社 首都圏営業本部
〒163-0415 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル14F

桜友会通信

「学習院追悼ミサ」開催
カトリック研究部
OB・OG会

この集いは故柳谷武夫先生（大14高・元独文科教授）が「カトリックに遇」された方々を始め、先の大戦で犠牲となられた諸先輩の為に追悼ミサを捧げたい」というご希望のもとにご長女の河目愛子様（昭28国）と上田美津様（昭31哲）が関係者と共に昭和62年に第1回目を始められたのが発端です。現在はカトリックOB・OG会が中心となり常磐会、草上会、桜友会のオール学習院の基盤の上に毎年開催しています。

した。当日はあいにくの雨にもかかわらず約60名の方々にご集まり頂き、既に亡くなられた親族、恩人、友人をはじめ学習院に關係した全ての方々のご冥福を祈り厳かにミサが行われました。引き続き近くのレストランで懇親会が開かれ再開の喜びの内に想い出話や近況に会話も弾み、時の経つのを忘れて楽しいひと時を持つことができました。この有意義な集いを今後も続けて参りたいと思っておりますので多くの方々のご参集をお待ちしております。

第16回公演決定
たつのおとしご会

たつのおとしご会では、アガ

サ・クリスティー原作、佐藤修演出の「招かれざる客」を第16回公演として上演します。一昨年の「ねずみとり」に続いての、クリスティーの傑作の上演です。日本橋区民センター内の日本橋劇場で、5月26・27日の14時と18時30分、28日の12時から計5公演です。

1960年代イギリス・ブリストール海峡近くの館。11月の霧の夜。車の事故を起こした見知らぬ男が助けを求め訪ねて来る。彼が見たのは、車椅子の死んだ男と銃を握りしめて立ち尽くしている美しい女。謎めいた家族や同居人たち。息を呑むほどんでん返し。果たしてあなたは真犯人を見破ることができるでしょうか？

チケットは、「チケットぴあ」で発売しています。皆さまのご来場をお待ちしています。

創立40周年式典を開催
高等科洋弓部後援会

平成16年12月12日、高等科生徒ホールに、現役高等科生、顧問、OB、歴代コーチ、また大先輩を含む総勢52名が集結しました。昭和39年から数えて創部40周年を祝うと共に、アトラクションを通じ、現役・OBの交流を図りました。

OB会は昭和57年に発足し、20・25・30・35周年も祝ってきました。今回は、長年顧問を務めていただいた越田稜先生と鳥居士郎先生へのお礼の会でもありました。

また、会場には平成13・16年の競技会の記録も貼り出し、現役生からはOBへの近況報告なども行われました。

漕艇部OB懇親会開催
高等科漕艇部OB会

OB会組織である、洋弓部後援会では今回公式ホームページを開設し、過去から現在、未来へと続く学習院アーチエリーフファミリーの交流の場とすべく利用を呼びかけています。
<http://www.gatl964.com/>

平成17年2月26日、創立百周年記念会館で「高等科漕艇部OB懇親会」を開催いたしました。当日は、現役生を含め約40名が出席し、高等科漕艇部の現状報告や、旧交を温めたりと和やかな会となりました。また会場には故河野野政治先生の奥様より、かつての懐かしい写真の数々をお借りし、掲示することができました。

ありがとうございました。

他大学からの来賓も招き

桜友社労士会総会を開催

桜友社会保険労務士会の第9回総会と懇親会が2月5日、輔仁会館2階のさくらラウンジで開催されました。総会では平成16年度の事業報告や平成17年度の事業計画などが話し合われ、承認されました。

また、総会後に開かれた懇親会には、永田良昭学習院大学長、草刈廣桜友会副会長（昭31政）が来賓として出席されたほか、新たな試みとして、当会と同じような社会保険労務士が集う他校の同窓会の方々にも来賓とし

ておいでいただきました。

今回ご参加いただいたのは、社労士稲門会（早稲田大学）の大南弘巳幹事長、社労士駿台会（明治大学）の金網久夫会長、そして社労士白門会（中央大学）の阿世賀陽一会長代理。学び舎は違っても、そこは同業界で仕事をする人間同士。和気藹々としたムードの中、懇親が深められ、業界の情報交換も盛んに行われました。

桜友社会保険労務士会の発足は平成8年。来年には記念すべ



左から金網・阿世賀・大南の各氏

き10周年を迎えます。現会長の高場清海氏（昭32政）など4人の発起人が中心となり誕生、以後、毎年総会が開催されています。

発足当初は同業者の親睦や情報交換をメインに行われてきましたが、平成10年からの会の事業報告と計画を決定する「総会」や講師を迎えての「講演会」、会員の交流の場「懇親会」、実務的な話題をテーマにした「研修会」などが開かれてきました。これまでの会を振り返ると、社会保険労務士の実務につながるような様々な取組みをしてきました。

時代の流れでますますニーズが高まっている社会保険労務士。同業者の同窓の輪として、新規入会も歓迎しています。

職域桜友会代表者会 2月24日開催

各職域桜友会の担当者が一堂に集う職域桜友会代表者会が2月24日に東京・虎ノ門の霞会館で開催されました。当初11月開催予定だったものが2月開催となったもので、各会の代表者や桜友会関係者、学校法人学習院関係者など、合わせて90名以上が集まりました。

武藤通章常務理事（昭37政）の司会で会は始まり、桜友会側からは亀井弘桜友会長が挨拶。

亀井会長は各会担当者に就職活動に対する協力へのお礼を述べられ、また今後も桜友会活動の発展のために各社の桜友会会員の把握をしてほしいとのお願いがありました。

続いて学校側からは、永田良昭学習院大学長が挨拶されました。永田学長は挨拶の中で「毎年1万5000人程度の受験者数を維持してきた学習院大学も、今年は少子化の影響を受けて若干受験者数が減少しました。しかし、大学院への受験者数が増え、大学院生の就職活動が増えました。大学生と合わせて、大学院生の就職活動についてもご相談させてください」と、今後の学習院に対する協力のお願がありました。

また、続いて挨拶に立った波多野敬雄学習院女子大学長は学習院女子大学の就職力の強さに触れられ、学生たちが自分の希望する職業に就けるのも、各職域桜友会の担当者の方々のおかげと、お礼の言葉を述べられました。

平成16年度の就職状況については、定期的に最終的な集計ではなかったため、後藤昭彦学習院大学就職部長から中間報告という形で発表されました。依然として厳しい就職状況下の中、学習院大学の学生は各社から高い評価を受けていて、就職率は

順調に推移しているとの話がありました。さらに、司法試験や公認会計士などの合格者も大幅に増加しているとの報告がありました。

一連の報告の後には懇親会が開かれました。池田浩規学習院専務理事（昭33政）の乾杯の発声で始まり、会場のいたるところで就職に関する情報交換が活発にされていました。特に後藤就職部長の周りには絶えず人の輪ができ、各職域担当者が熱心に学習院の学生について話している姿が印象的でした。

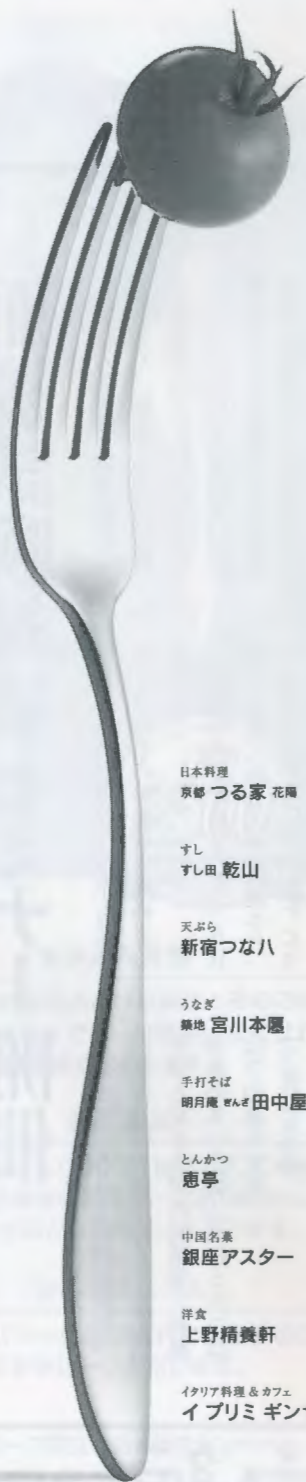
連絡お待ちしております 新日石桜友会

当職域桜友会は、永らく休眠状態でありましたが、再構築のためOBが中心となり、去る2月21日に新幹事団の会合を開き、今後は年1回のペースで新日石桜友会を開催することにいたしました。当日は17名のOB・現役が参集し、会の運営方法などを話し合いました。また、OBの島村宜伸農林水産大臣（昭31政）にも多忙な時間を割いて出席いただきました。

今後の会の運営のために名簿を整備いたしますが、なにごん資料が古いこともあり、幹事あるいは世話人宛に住所、電話番号（ほかに社年、卒業年、初・

レストランシティ

GINZA



日本料理
京都 つる家 花陽

すし
すし田 乾山

天ぷら
新宿 つな八

うなぎ
築地 宮川本屋

手打そば
明月庵 田中屋

とんかつ
恵亭

中国名菓
銀座 アスター

洋食
上野 精養軒

イタリア料理 & カフェ
イプリミ ギンザ

営業時間

各店
11:00 a.m. - 10:00 p.m.
(ラストオーダー 9:30 p.m.)

松屋銀座 = 〒104-8130 東京都中央区銀座3-6-1
電話 03(3567)1211 大代表 www.matsuya.com

MATSUYA GINZA

桜友会通信

会報発行と総会開催 医歯薬桜友会

「医歯薬桜友会会報第12号」を発行しました。会員をはじめ、小野田博桜友会副会長(昭30化)や永田良昭学習院大学長などに特別寄稿いただきました。医歯

中・高・大〔学部〕をお知らせいただければ幸いです。
広くOB・OG・現役(旧日石グループ、旧三石グループ、旧興亜グループ)の皆様のご連絡をお待ちしています。
会長／黒瀬明(昭29政)
代表幹事／二荒芳彦(昭31経) 連絡先／山崎智弘(昭36経)
☎ 03・3327・1677、
tom_yamazaki@nifty.com
千澤昭彦(昭41法)
☎ 03・3725・1912、
zvp01065@nifty.ne.jp

総会・ゴルフに参加を 富士通グループ桜友会

富士通グループ桜友会では、今年度の総会を6月8日18時30分から東京・霞ヶ関の霞ヶ関三井クラブにて開催します。当桜友会は、グループ会社を合わせ総勢350名を超える会員数を擁しており、今回出来る限り多くの会員の皆様にご出席いただき、会を盛り上げたいと考えて

10回目の記念すべき会 電線桜友会

平成16年11月19日に、日本外国特派員協会にて第10回電線桜友会を開催いたしました。第10回という記念すべき会に総勢20名の参加を頂き、懐かしい学生生活、近況、電線業界の情報交換を交え、楽しいひと時を過ごす会となりました。第10回を新たな始まりとし、これからもこの会を継続していく所存ですので、この報告をご覧いただき、

約3年ぶりの開催 高砂香料桜友会

平成17年1月18日(火)、東京・浜松町の新亜飯店にて高砂香料桜友会を約3年ぶりに開催しました。ここ3年新人社員がいなかったが残念ですが、在職者およびOB・OG全体で17名の会員が活躍しています。当日は会長の山家全之氏はじめ9名が集まり、各時代で学生時代、在職時代および引退後の熟年時代とそれぞれ謳歌していた懐かしい話や現在の状況等、話に花が咲きました。
会長／山家全之(昭32経)、

まだ参加なされたことのない方、どしどし参加をお願いいたします。
世話役／森田友庸(昭57法)
吉村志登美(昭61仏)

在京メンバーで久しぶりに 国民生活金融公庫桜友会

幹事／吉田勝信(昭43経)
平成16年12月13日、在京メンバーが久しぶりに渋谷のレストランで集いました。最盛期には短大卒の女性も含めて30数名集まったのですが、異動等により暫く開催していなかったことと、急に設営したこともあり都心部の一部会員しか参加できませんでした。そこで、今後の運営等について活発に論議し、連絡体制に遺漏がないように、まずは名簿を整備し再興を期すことを申し合わせました。「自分のところには何の連絡もない」ということが懸念される場合には、ご連絡を下さいますようお願いいたします。
代表世話人／渡邊道(昭54政)

INFORMATION

活動報告とお知らせ

桜友会では、情報・組織・親睦・準会員の各部会に属する委員会ですさまざまな取り組みを行っています。

ここでは、各委員会での活動レポートを中心に、学習院の最新情報などもご紹介します。

大学の面接試験対策セミナー



学習院大学・学習院女子大学で 面接試験対策セミナー開催

桜友会の就職支援活動の一環として、桜友会準会員就職支援委員会では昨年12月～今年2月にかけて学習院大学就職部および学習院女子大学就職部との連携で「面接試験対策セミナー」を開催しました。

大学や女子大独自でも就職支援活動が行われていますが、このセミナーは学習院のOB・OGで各企業の人事担当経験者が講師となって模擬面接を行うため、実践的であ

ると学生にも好評。今年も総計約800名の参加者を集めました。

学習院大学では2月5～6日の2日間にわたって実施され、635名の学生が参加しました。企業や官公庁で人事を経験したことがある卒業生を各日100名招き、学生13～14名ずつ48のグループに分け、履歴書や自己PR、個人模擬面接、集団模擬面接など、9時から夕方6時まで徹底指導を行いました。

また、学習院女子大学では昨年12月19日と今年1月30日の2回にわたって実施。参加者は総計500名を超え、こちらも学生に好評でした。大学同様1グループ10名程度のグループごとに行われ、履歴書やエントリーシートへの添削指導、個別面接、集団面接、グループディスカッションの指導がされました。

さて、平成16年度の大・女子大学の就職状況ですが、おおむね順調に推移しているようです。最終的な就職率が確定す

るのは例年5月上旬頃なので中間報告という形になりますが、大学と女子大学の就職率と就職者数の多い企業（上位5社）は以下の通りです。

【学習院大学】

就職率／合計95.1%（男子94.3%・女子95.8%）

就職者数の多い企業／《男子》

1位・東京三菱銀行、2位・みずほフィナンシャルグループ、

同・警視庁、4位・日本生命保

険、同・UFJ銀行。《女子》

1位・東京三菱銀行、2位・三

井住友海上火災保険、同・東京

海上日動火災保険、4位・みず

ほフィナンシャルグループ、5

位・日本生命保険、同・三井住

友銀行、同・全日本空輸。

*データは平成17年3月31日現

在のもの。

【学習院女子大学】

就職率／合計93.7%

就職者数の多い企業／1位・東

京三菱銀行、2位・みずほフィ

ナンシャルグループ、3位・三

井住友銀行、4位・大和証券グ

ループ、同・エイチ・アイ・エ

ス。

*データは平成17年4月7日現



二二理高会 クラス会を自白で

恒例の二二理高会クラス会が去る4月4日、目白リッチモンドホテル・ガーデンルームで開催されました。今年の参加者は15名で例年に比べてやや低調な集まりでしたが、全員健康で意気盛んでありました。

ただ、昨年死去された寺岡隆君（北海道大学名誉教授）、内田安三君（東京大学名誉教授・新潟産業大学学長）、今年の元旦に医療ボランティアとしてミヤンマーで活動中客死された廣瀬誠君（元横須賀共済病院院長）の訃報があり、誠に残念な思いで参加者全員、冥福を祈りました。

また、学習院大学構内の桜は開花が遅れ、予定の散策は中止となりました。

来年の会合は知野光志君の提案で日比谷のプレスクラブでと再会を約し、散会しました。

かわら版製作・原雄次郎

常陸宮両殿下をお迎えして 桜友会ゴルフ大会を開催

毎年恒例の桜友会ゴルフ大会が平成16年9月7日、埼玉県の霞ヶ関カンツリークラブで開催されました。

今年で39回目を迎えた歴史ある大会で、常陸宮杯をはじめ、院長杯や3位、順位賞、シニア、グランドシニア優勝、ベストクロス、団体優勝等、各賞を競い合い、参加者はさわやかな汗を流しつつプレーを楽しみました。常陸宮殿下と同妃殿下をお迎えして行われた今回の大会は、募集定員の200名を上回る208名が参加。台風が近づく中の開催でしたが、大盛況でした。今回優勝し、見事常陸宮杯を手にしたのは大野一（昭47政）、準優勝の院長杯を受けた

のは高木正博（昭31政）の各氏。また、女子の部では森昌子氏（昭30女高）、シニアの部では山本靖彦氏（昭38経）がそれぞれ優勝し、プレー後には懇親会も開催されました。

記念すべき第40回を迎える今年の桜友会ゴルフ大会は、9月8日（木）に程ヶ谷カントリー倶楽部（横浜市旭区）で開催予定です。程ヶ谷カントリー倶楽部は、大正11年（1922）に発足したゴルフクラブで、4年後の昭和元年には第1回全日本ゴルフ選手権大会が開催された歴史あるコースです。現コースは昭和42年に完成しました。参加費8000円、定員200名、どうぞ奮ってご参加ください。

第13回桜友会旅行会で 越前の名所とカニ堪能

第13回目を迎える桜友会旅行会が平成16年11月20日（土）～21日（日）、1泊2日の日程で開催されました。今回の旅行会のテーマは「晩秋の福井路 永平寺と解禁蟹三昧の旅」。総勢36名の参加者一行がまず向かったのは、曹洞宗大本山の永平寺。松平宗紀氏（昭38物）のご案内で寺内を見学後、監院様のご講話や精進料理を楽しみました。

その後、一乗谷朝倉遺跡を散策。朝倉遺跡資料館や福井市郷土歴史資料館、越前松平家の別邸「養浩館」と見学し、宿舎となったホテルユアーズフクイへと向かいました。夜にはホテルで福井桜友会との合同懇親会が開催され、約60名が参加。同窓生

の懇親を深めました。また、篠笛奏者をお呼びいただくなどの余興もあり、楽しいひと時を過ごすことができました。

翌21日、ホテル出発後、今立和紙の里を見学。色紙の紙漉体験を楽しみ、越前海岸を観光しました。そして、昼食は厨温泉料理旅館の金龍で解禁されたばかりの越前カニのフルコース。皆様楽しみにしていた旬の味覚だけに大変好評でした。昼食後には、越前二ノ宮の織田親社などを見学し、現地解散となりました。今年度は10月22日（土）～23日（日）に青森県弘前方面の旅行会を予定しています。参加費は3万8000円（予定）です。

昭43同窓会の寄付金で プラスマディスプレイ

昭和43年卒業同窓会が平成10年9月に行った卒業30周年記念大学指定寄付金（110万円）のうち残額82万6765円が今年3月、百周年記念会館1階に設置された61インチプラスマディスプレイ2台の購入費用として充てられました。

すでに平成13年6月、応援団への楽器や練習用マットなどの購入資金として27万3235円が支出されましたが、今回で指定寄付金の支出が全額完了。代表の安中直彦氏（昭43法）には、永田良昭学習院大学長からお礼の文書が寄せられました。

私も理想の
パートナーが
見つかりました。



ご婚約
2300組
婚約のスライダアシスト

お申込み資格

桜友会の皆様およびご家族とご紹介による方々です。お電話いただければ、申込書を郵送いたします。

お申込金

申込金は63,000円（税込）で、その他には月会費等の費用は一切ありません。DCカードなどご利用いただけます。

安心のシステム

プライバシーは厳守されていますので安心してお申込みいただけます。

三菱グループ設立の結婚紹介センター

ダイヤモンドファミリークラブ

お気軽に資料をご請求ください

TEL(03) 3405-8261

ホームページ

<http://www.diamond-familyclub.com>

〒107-0061

東京都港区北青山1-2-3 青山ビルディング11階

地下鉄（銀座線・半蔵門線・大江戸線）

青山一丁目下車 北青山方面0番又は1番出口

チエリーパーティー 600名を迎え盛大に

桜友会の年末恒例行事「チエリーパーティー」が平成16年12月11日、東京プリンスホテルで開催されました。38回を数えるこのパーティーは毎年多くの参加者でにぎわいますが、昨年の会は約600名の参加者が集い、華やかなパーティーを楽しましました。

毎回好評のクリスマス・ディナーに舌鼓を打ったあとは、お楽しみ品のビンゴゲーム大会。毎年、数々の豪華な賞品が話題となりますが、今年は1000万円の商品券をはじめ、液晶カラーテレビやノートパソコンなど例年に負けない豪華なラインナップとなり、幸運な参加者に贈られました。

また、今回のパーティーの益金50万円が特定非営利活動法人フアミリーハウスに寄付されました。寄付金は、病気の子どもとその家族の方の経済的支援として滞在施設の利用料1泊1000円の維持に、また、滞在施設設備、備品の充実等に使われるというところで、後日、ファミリーハウス理事長の長坂寿久氏からお礼状が桜友会に届きましたことをご報告申し上げます。

次回第39回チエリーパーティーは12月17日に東京プ

リンスホテルで開催される予定です。今年も皆様のご参加をお待ちしております。

1月7日霞会館で 桜友会新年会

桜友会新年会が1月7日、霞会館で開かれ、多くの出席者で賑わいました。桜友会員相互のつながりが大切と、会に先立ち亀井泓桜友会長が挨拶された後、来賓の紹介や田島義博学習院長の挨拶が続き、懇親会が開始。約2時間、会場のあちらこちらで懇親が深められ、小野田博桜友会副会長の三本締めで閉会となりました。

桜友クラブ最後の ゴルフ大会開催

桜友クラブの開催としては最後となる第18回目の桜友クラブゴルフ大会が、3月30日、埼玉県狭山市の東京ゴルフ倶楽部で開催されました。当日は53名が参加し、好天にも恵まれて楽しいゴルフ大会となりました。見事優勝の栄冠（桜友会長杯）を手にしたのは池田脩人氏（昭40経）。今後は、春の桜友会長杯としてゴルフ大会は続けられません。

「桜友会講座」 具体化に向けて

昨年8月以来準備を進めてき

た「桜友会講座」を具体的に検討中です。

この講座のねらいは、若者たちに、「日本および学習院の伝統と文化」をメインテーマに据え、様々な切り口から、国という単位でものを考える目を養ってもらうとともに、勇気を奮って次の一步を踏み出す大切さを伝えたいというものです。

講師の選任にあたっては、世界的レベルの知識、技術、哲学などを有し、奥深い人生観や体験を語ってもらえる方を現在交渉中です。

詳細が決定しましたら、改めて短信や桜友会ホームページでお知らせいたします。

春季全国支部長会 評議員会開催

平成17年度の桜友会春季全国支部長会および評議員会が4月16日、学習院大学西5号館で開催されました。13時30分から開催された全国支部長会では、現況報告などが行われ、続いて16時からは評議員会が行われました。平成16年度の事業報告をはじめ、平成17年度の基本方針・事業計画案、収入・費用予算案、役員選出などの議案が、承認されました。

桜友会員の皆様に お知らせ

お近くの会費未納者の方に
桜友会は、会員の皆様の会費により運営されていますが、現在、会の財政も厳しくなっております。前号に続き今回も、会費未納の方々につきましてはこの「桜友会報」が送付されておりません。お近くに会費未納の方がいらっしやいましたらこの旨をお知らせください。

会員情報の更新について
会員の現況情報は、原則的にご本人から桜友会事務局へのご連絡によって更新しております。ご逝去の場合はご家族からのご連絡によります。ご家族からのご連絡以外に、知人の方や各組織から新しく提出された名簿の照合によることもあります。ご本人以外からの情報の場合には卒年・学科の間違ひがあることがあります。事務局ではご家族にお電話で確認することを原則としておりますが、同音の場合など確認ミスが生じることが稀にあり、訃報欄の訂正とお詫びを掲載することになります。

確実に会員情報を更新するためには会員番号をお知らせいただければ幸いです。会員番号は宛名シールの下部に印刷されている10桁（4桁3桁3桁）の数字です。ご協力よろしくお願いたします。

平成17年度 桜友会行事予定

- 〔平成17年〕
- 5月19日（木）桜友会定時総会・評議員会（記念会館）
 - 5月26日（木）「ありがとう！桜友クラブ」の会（赤坂プリンスホテル）
 - 6月12日（日）第63回学習院公開講演（佐賀市・ホテルニューオータニ佐賀）
 - 6月23日（木）日本の伝統文化に触れる会（霞会館）
 - 9月8日（木）第40回桜友会ゴルフ大会（程ヶ谷カントリークラブ）
 - 10月22日（土）23日（日）第14回桜友会旅行会（青森・弘前方面）
 - 11月12日（土）秋季全国支部長会・評議員会（記念会館）
 - 11月18日（金）輔仁会OB・OG代表者会（記念会館）
 - 11月20日（日）第64回学習院公開講演（郡山市・郡山ビューホテルアネックス）
 - 12月17日（土）第39回チエリーパーティー（東京プリンスホテル）
- 〔平成18年〕
- 1月10日（火）桜友会新年会（霞会館）
 - 2月24日（金）職域桜友会代表者会（霞会館）

桜友会通信

桜友会
ホームページを
ご活用下さい。

<http://oukai.etc.gakushuin.ac.jp/>

桜友会ではさまざまな活動が行われていますが、最新情報は桜友会ホームページでご紹介しています。おかげさまで今年4月現在23万件余りのアクセスをいただきました。

トップページは、「会長挨拶」や「桜友会案内」など25の項目

に分かれています。「行事予定」や「短信」の項目をクリックすれば、行事予定をチェックできます。月例会の情報は「月例会報告」欄をクリックすれば、講演内容が分かります。

また、桜友会本部関係以外の欄も充実しています。「学校学部別同窓会」「全国支部便り」「職域桜友会」などで、特に一年を通してさまざまな催事を行っている地域桜友会の「全国支部便り」は内容の更新が頻繁に行われている支部もあり、総会やイベント開催のお知らせ・報告、会長や役員紹介、会員の近況など、それぞれ地方色豊か

な内容です。

注目の最新情報は、トップページの「WHAT'S NEW」欄へ。特に新しい情報には「NEW!」の文字が記されているので一目で分かります。

また、同ホームページではメールマガジン「週刊桜友会報」の配信申込みも受付中です。メール登録をすると、さらにホットなニュースが桜友会から自動的に送られます。こちらも多くの皆様のご登録をお願いします。

最新情報満載の桜友会ホームページへぜひアクセスしてください。

計報

野村晋城	大13旧初
園田給一	昭6旧初
鍋島幹一郎	昭10旧高
石本新玄	昭14旧高
瓜生本	昭18旧高
関野恭史	昭24旧高
原田正造	昭27政
萩原一代	昭29短英
吉川須美子	昭30経
渡部利光	昭31経
玉井俊之	昭32政
宮崎整子	昭32国
石田周男	昭32経
金岡勅右	昭34経
市川育子	昭34短国
藤波真知子	昭34短国
青山幸生	昭35経
織田信子	昭35哲
北沢勉	昭35哲
松本悠璃子	昭36短家
安藤稜	昭37経
寺田博	昭42化
横井正道	昭44法
真鍋秀子	昭45短
山岸真佐子	昭45短英
下平昌男	昭50法
永岡龍彦	昭50仏
春山和子	昭60短国
日高徹郎	昭62哲
早川尚美	昭62短
鹿野千代美	昭63短文
飯田浩二	平4哲
小林優子	平7数
旧教員	
清永昭次	名誉教授

*名誉教授である、鈴木正三先生が1月11日にご逝去されました。5月8日13時から百周年記念会館で偲ぶ会開催。5000円。連絡先/柳谷義夫(昭35経) ☎03・3484・9453

潤いのある教育空間を創造します。

学生机椅子をはじめ、
移動観覧席・ファニチュア・
サイン・複合遊具
そしてアートまで。
コトブキは、
教育環境をトータルに
サポートします。



株式会社コトブキ

カスタマーセンター

TEL:0120-510213

FAX:0120-510216

E-mail:sales@kotobuki.co.jp

K・O・T・O・B・U・K・I

<http://www.kotobuki.co.jp>

生涯学習センター 春期講座開講中!

冬期講座が好評のうちに
終講した学習院生涯学習セ
ンターでは、現在、恒例の
春期講座を開講中です。

3月から受講申込みの受
付を開始しているため、定
員に達している講座もあり
ますが、まだまだ間に合う
講座もあります。「源氏物語

と美術」「義経外伝」「シルクロード」「カウンスリング入門」「健康に生かす 内家拳(太極拳)・気功法」「楽しむための自転車学」「証券外務員資格二種」「イタリヤ語を話しましょう」など注目の講座も目白押しです。

なお、春期講座の詳細が分かるパンフレットを無料で配布中です。

《問合せ・申込み》

学習院生涯学習センター

☎03・5992・1040

FAX03・5992・1124

<http://www.gakushuin.ac.jp/open/>

桜友会の個人情報の対応について

2005年4月1日、個人情報保護法の施行に伴い、桜友会として保有する会員（準会員を含む）および教職員（旧教職員を含む）各位の個人情報の保護を図るべく、個人情報保護規定を策定いたしました。桜友会としての個人情報保護についての基本方針とともに個人情報保護法の規定により通知または公表が義務付けられている個人情報の利用目的、個人情報の第三者への提供について、あらかじめ下記の通り公表いたします。桜友会個人情報保護規定については桜友会ホームページをご覧ください。

●桜友会個人情報保護基本方針

同窓会において、会員および関係者個人の最新かつ正確な情報を確保していくことは、その活動を行っていく上で、不可欠な要素であります。

桜友会および会員（以下、「桜友会」とします）は、桜友会会則の定める活動に当たって、個人の人格尊重の理念の下、個人情報の保護の重要性を深く認識し、以下を基本方針として定め、関連法令、規則の遵守はもとより、個人情報の適切な取り扱いによって、関係者の信頼を確保し、もって桜友会活動と会員相互の親睦、母校のさらなる発展を期すものといたします。

- 1 桜友会は、その活動のために取得または作成し、保有する個人情報の利用目的を明確にし、通知または公表するとともに、第三者への提供を含め、通知、公表した利用目的の範囲外の利用をすることなく、適正に取り扱います。ただし、あらかじめ本人の同意を得た場合は、この限りではないものといたします。
- 2 桜友会は、本人の意図しない個人情報の利用、提供を防止し、また、個人情報の最新、正確さを確保するために、本人からの申し出を受け付ける窓口を明確にし、その申し出に適切な対応をします。
- 3 桜友会は、関連法令、規則を遵守します。
- 4 桜友会は、個人情報の機密性、完全性、可用性を維持するために、不正アクセス、紛失、漏洩、改ざんなどに対する適切な対策を講じ、それらの防止に努めます。また、万一事故が発生した場合には、その状況に応じ、通知または公表を含む適切な処置を講じ、二次被害の防止と再発の防止に努めます。

桜友会は、以上のことを実現するために「桜友会個人情報保護規定」を定め、管理体制を確立するとともに、実践し、また同規程を継続的に見直し、改善を図って行きます。

●桜友会が取得、保有する個人情報の利用目的

1 桜友会が取得し、保有する個人情報の利用目的は以下の通りとする。

- イ 桜友会名簿の発行、頒布。桜友会名簿に記載する個人情報の項目は、現および旧氏名、卒業（途中退学を含む。以下同じ）学校、学部、学科、卒業年次、現住所と電話番号等、勤務先と電話番号等又は職業並びに基本会費支払い状況の識別とする。但し、本人から申し出があった場合、現および旧氏名、卒業学校、学部、学科、卒業年次、基本会費支払い状況の識別以外の項目は掲載しないことがある。
- ロ 会報等出版物（電子媒体によるものを含み、桜友会の活動目的に適うものに限る）の配布
- ハ 桜友会、学習院、常磐会および父母会の各種事業、行事の伝達
- ニ 桜友会、学習院、常磐会および父母会の寄付金の募集
- ホ 桜友会会費、寄付金の収受管理
- ヘ 桜友会各種組織および会員個人（またはグループ）による桜友会活動の支援（例えば、新組織結成のための名簿作成など）
- ト 準会員の就職活動支援のための会員個人情報の提供
- チ 学習院の広報活動、寄付金募集等支援のための会員個人情報の提供
- リ 常磐会、父母会の活動支援のための会員個人情報の提供

2 前1項、ニ、ヘ、ト、チ、およびリのために利用または提供する個人情報は桜友会名簿記載の項目に限る。

3 前1項に定める利用目的は、桜友会ホームページおよび会報によって公表する。前1項の利用目的を変更した場合も同様とする。

4 前1項に定める目的以外の目的で取得または保有する個人情報を利用しない。ただしあらかじめ本人の同意を得た場合はこの限りではない。

●桜友会が保有する個人情報の第三者への提供

- 1 桜友会が保有する個人情報の第三者への提供先は、公表した個人情報の利用目的に基づき学習院、父母会および常磐会とする。ただし、あらかじめ本人の同意を得た場合はこの限りではない。
- 2 第三者による個人情報の利用は、公表した個人情報の利用目的に定められた範囲に限るものとする。ただし、あらかじめ本人の同意を得た場合はこの限りではない。
- 3 桜友会より個人情報の提供を受けたものは、当該個人情報により識別される本人より、利用の停止、個人情報を構成する個人データの訂正を求められた場合、正当な理由がない限り、可及的速やかに、これに応じるものとする。
- 4 桜友会より個人情報の提供を受けたものは、提供された個人情報についてそのセキュリティの維持に努め、他の第三者に提供してはならない。ただし、あらかじめ本人の同意を得た場合はこの限りではない。

【卒業生の皆様へ】

卒業生の皆様におかれましては、平素より現役学生の就職その他につきまして格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、就職部では学生の就職活動時において、OB・OG訪問に限定し従前から卒業生の個人情報（卒業年・卒業学部学科・氏名・住所・電話番号・勤務先）を桜友会名簿、同名簿の一部抜粋（企業別卒業生一覧）、過去5年間企業別内定者リストにて就職部内において学生に閲覧させてきました。OB・OG訪問は、皆様方を通じて企業等の研究や情報を直接受けられる貴重な機会であり、毎年多くの学生がお世話になっております。就職部としてもぜひとも卒業生各位のご理解をいただき、今後も継続させていただきたいと思っております。つきましては、卒業生情報をOB・OG訪問に限定し、かつ厳重管理の上で学生に提供することをご了承いただきたく存じます。なお、情報の提供に不都合のある場合には、就職部までお申し付けいただければ即座に情報提供を中止させていただきます。

また、卒業生で新たに就職を希望する際、就職希望先から人物照会（氏名、学部・学科、生年月日、入学年月、卒業年月、ゼミ・卒論、在籍クラブ、スポーツ、趣味、性格、その他）を求められる場合が稀にあります。皆様の就職活動を有利に取り計らっていただくため、大学3年次に提出いただいた「進路登録票」の記載部分から転記し回答いたします。これにつきましても不都合な方がいらっしゃいましたら、お申し出いただければ回答はいたします。

平成17年4月1日 学習院大学就職部

●不都合な方は下記までご連絡願います（メール・FAX・書簡にてお願いいたします）

学習院大学就職部 Eメール empl-off@gakushuin.ac.jp FAX 03・5992・1143

住所 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 学習院大学就職部 ☎03・5992・1148

学習院教職員会、学習院同窓会桜友会 団体加入

創業38年、東京都民互助会へ

まかせて安心、真心でご奉仕の

葬祭のご用命、ご相談は



差上げます。

- ①ご葬儀の「こころえ」
- ②ご葬儀後に必ず必要になる「相続の本」

お電話でご請求下さい。
無料でお送りいたします。

年中無休・深夜でもご連絡下さい。

- 葬祭につきましては24時間体制。万一の場合はご連絡いただけますと、病院よりのご移送も迅速に、以後一切責任をもって親切にお世話いたします。
- ご費用は会員特別割引価額です。
家庭葬、斎場の施行をお受けいたしております。



経済産業大臣許可(互)第3066号

東京都民互助会

電話 (03)3396-7231(代)

FAX (03)3395-8874

〒167-0042 東京都杉並区西荻北5-1-8 相談役 千家光雄 (昭和29年 政治経済学部政治学科卒)


フリーダイヤル **0120-849544**

<http://www.tomin-gojyo.co.jp>
(iモードにも対応いたします)



しみじみと 心のかよう 贈りもの

<http://www.toraya-group.co.jp/>


どらや

豊かな経験・最高の技術

油圧式・ロープ式エレベーター設計・製作・据付・保守
乗用・身障者用・住宅用・人荷用・荷物用・病院用・自動車用・冷蔵庫用

優 動

comfortable space

空 間

ISO9001認証取得

横浜エレベーター株式会社

取締役社長 勝 治 雄

本 社 横浜市中区松影町2丁目8番6号
電話045(662)1594(大代表) ☎231-0025

東京支店 東京都港区芝大門1-4-10 大蔵ビル
電話03(3434)1701(代表) ☎105-0012

イトオテルミー療法

医療とは、治し癒す人と病める人が、平等な対話を重ね真実に触れ、病苦への自覚と受容をお互いが認容する方向に進めるものです。



高齢化社会を迎え、

その温熱刺激療法に、

会員10万名

1980年5月21日に落成したテルミーの殿堂「福德会館」は、四季折々の自然に恵まれた清流多摩川の河畔に建ち、訪れる人々に安らぎと希望を与えます。今、会館はテルミー療法の研究の場として休むことなく機能しています。

イトオテルミー療法について、くわしくお知りになりたい方は、下記イトオテルミー親友会へお問い合わせください。なお、聖イトオテルミー学院では講習生を募集しています。入学ご希望の方は、一般コース、在宅コースがありますので、(044-811-8415)へお問い合わせください。卒業後、指導資格者としての道がひらけます。

イトオテルミー親友会

〒213-0032 神奈川県川崎市高津区久地2-6-28
TEL 044-811-8415(代表) FAX 044-811-8409
<http://www.ito-thermie.or.jp/>

(有)東京理医学研究所

〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-18-12
TEL 03-3425-2131



なぜ、 強力わかもと？

健康、活き活き応援団。

椎名 令恵

選ばれる理由は、効き目のグッドバランス。強力わかもとなら、胃に、腸に、滋養強壮に効く成分が、まとめて摂れます。
①胃に効く、消化酵素! ②腸に効く、乳酸菌! ③滋養強壮に効く、ビール酵母! この3つの天然成分が効き目のヒミツです。

お客様相談室 **03-3279-1221** (直通)

受付時間: 月~金 9:00~17:30 (祝日を除く)

www.wakamoto-pharm.co.jp

(主な効能・効果) ●胃もたれ、食欲不振、消化不良、食べ過ぎ。 ●整腸(便通を整える)、便秘、軟便。 ●滋養強壮、肉体疲労・病中病後・産前産後などの場合の栄養補給。



便利な
分包パッケージ
もあります。

○ピン入り(300錠・1000錠) ○分包(9錠パック×12)
◎説明文書をよく読んで正しく服用して下さい。



安心して贈れるおいしいものを、大切な方々へ。
ヨックモックのクッキー

株式会社 ヨックモック

〒107-0062 東京都港区南青山5-3-3

☎0120-033-340 <http://www.yokumoku.co.jp>



人がつくる、人の場所。

そこには落ち着ける空間があります。そこには快適な環境があります。

そして、そこには豊かな時間が流れています。

大切なのは人の息吹が感じられる場所であること。

私たちはこれからも想いを込めてつくり続けます。

SHIMIZU CORPORATION 
清水建設

<http://www.shimz.co.jp/>

櫻友クラブの諸行事が桜友会と一体化! 『ありがとう! 櫻友クラブ』

12年間の活動に幕、新たな取組みへ。

平成5年(1993)にスタートした櫻友クラブが、平成17年(2005)3月末で発展的に解消、櫻友クラブで開催されてきた諸行事は、桜友会本体の活動に一体化されることになった。多くの人たちの力で運営されてきた実績を今後の桜友会活動に活かすために、引きつづき諸行事についてのご意見、ご協力をいただければ幸いです。



桜友会会長 亀井 泓 (昭24旧高)

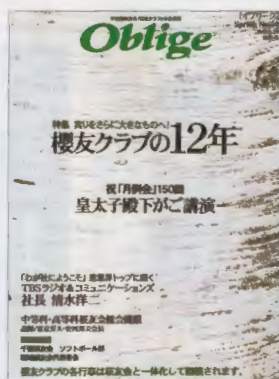
平成5年、今から12年前、櫻友クラブは呱呱の声をあげました。当時の設立趣意書を読みますと、設立に携わられた方々の櫻友クラブに寄せた熱い気持ちと夢が今なお切々と伝わってきます。当時、桜友会員はまだ7万人台でしたが、いずれ10万人に膨れることを予想し、その時に備えて今から体制を整えておかねばならないとされた先見に改めて敬意を表します。そこで一番求められるのはコミュニケーションであり、そのためには「出会いと連絡の場」を作ることが必要であるとして生まれたのが櫻友クラブであります。そして母船である桜友会本体の活動を助けるタグボートの役割が期待されました。その後櫻友クラブは関係者の献

身的な努力によって、多くの課題をこなしつつ着実に成長して来ました。「オプリージ・短信の発行」、「日本の伝統文化に触れる会」、「ゴルフ大会」、オール学習院の集い、での「响き酒会」、さらには「赤坂プリンスホテルのサロン開設」等々多彩な活動が繰り広げられ、それらは桜友会員にも開放され、桜友会と一体になって運営されて来ました。そうした現実から、この際、櫻友クラブは発展的に桜友会本体に包摂されるのが効率性の見地からも望ましいと判断され、これまで櫻友クラブが開拓し発展させてきた諸行事は総てそのまま桜友会が引き継いでいくことで昨秋の評議員会で承認されました。またオプリージは「桜友会報」と合体させ、その特色を活かしながら、新しいタイプの会報を編集していきたいと思っております。ただ何分にも経費の問題がありますので、今後何らかの試行を重ねる必要がありますが、会員のご希望、ご意見を伺いながら作り上げていきたいと思っております。今まで諸先輩に創り育てて頂いた櫻友クラブの実りを、今後は私共の手でさらに大きな物にすべく努力して参る所存でございますので、よろしくお力添えを頂きますようお願い申し上げます。

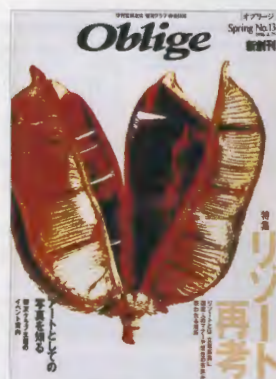
長い間有難うございました。
「オプリージ」NO. 44 (最終号)より再掲載

【お知らせ】

「ありがとう! 櫻友クラブ」の会が5月26日18~20時に赤坂プリンスホテル5階のロイヤルホールで開催されます。問合せ/桜友会事務局



平成17年(2005)3月25日発行の「最終号」。櫻友クラブの12年を特集。「創刊ゼロ号」から数えて45冊目の会員誌となった



平成8年(1996)4月25日発行号より、誌名を「オプリージ」に変更。版型もB判からサイズの大きいA判に。「新創刊」とうたった



平成5年(1993)の発足を前に「創刊ゼロ号」として発行された櫻友クラブ会員誌。平成4年(1992)10月1日発行

「日本の伝統文化に触れる会」開催。

櫻友クラブから引きつがれた「日本の伝統文化に触れる会」、今回は「一中節レクチャーコンサート」と題して、十二世都一中氏を講師に日本の三味線文化を勉強します。日時/6月23日、18時から。場所/霞会館。会費/6000円。締切/5月末日(申込み先着60名)。問合せ/桜友会事務局。

『ありがとう! 櫻友クラブ』
SPECIAL THANKS

昭42経/京王プラザホテル社長 [NO.38] 平成15年3月



多村繁樹
株式会社 京王プラザホテル
代表取締役社長

昭42経/京王プラザホテル社長 [NO.38] 平成15年3月

昭29政/シャボン玉石けん社長 [NO.37] 平成14年11月



森田光徳
シャボン玉石けん株式会社
代表取締役社長

昭29政/シャボン玉石けん社長 [NO.37] 平成14年11月

昭35政/アキレス社長 [NO.36] 平成14年7月



山中静哉
アキレス株式会社
代表取締役社長

昭35政/アキレス社長 [NO.36] 平成14年7月

産業界トップに間く
**わが社に
ようこそ**

学習院出身の各社の社長を
たずね、会社のこと、ご経
歴などをお話いただいた。

昭38政/阪神百貨店社長 [NO.42] 平成16年7月



三枝輝行
株式会社 阪神百貨店
代表取締役社長

昭38政/阪神百貨店社長 [NO.42] 平成16年7月

昭42経/ロフト社長 [NO.41] 平成16年3月



安森 健
株式会社 ロフト
代表取締役社長

昭42経/ロフト社長 [NO.41] 平成16年3月

昭40経/サッポロビール社長 [NO.40] 平成15年11月



福田貞男
サッポロビール株式会社
代表取締役社長

昭40経/サッポロビール社長 [NO.40] 平成15年11月



浅野茂太郎
明治乳業株式会社
代表取締役社長

昭41法/明治乳業社長 [NO.39] 平成15年7月

昭33政/埼玉県三郷市長 [NO.30] 平成12年7月



美田長彦
MISATO
代表取締役社長

昭33政/埼玉県三郷市長 [NO.30] 平成12年7月

全国の市町村長登場
**この人の
「わが町」へ!**

全国各地で市町村長を務める皆様に、地方から見た日本や母校のことを!

昭40経/TOSHINO&コミュニケーションズ社長 [NO.44] 平成17年3月



清水洋二
株式会社 TOSHINO & コミュニケーションズ
代表取締役社長

昭40経/TOSHINO&コミュニケーションズ社長 [NO.44] 平成17年3月



新町敏行
株式会社 日本航空
代表取締役社長

昭40政/日本航空社長 [NO.43] 平成16年11月

昭35政/福岡県黒木町長 [NO.34] 平成13年11月



横溝彌太郎
KUROKI
代表取締役社長

昭35政/福岡県黒木町長 [NO.34] 平成13年11月

昭45政/香川県観音寺市長 [NO.33] 平成13年6月



白川晴司
KAN-ONSU
代表取締役社長

昭45政/香川県観音寺市長 [NO.33] 平成13年6月

昭33経/東京都府中市市長 [NO.32] 平成13年3月



野口忠直
FUCHU
代表取締役社長

昭33経/東京都府中市市長 [NO.32] 平成13年3月



城江侃
ISENARA
代表取締役社長

昭35政/神奈川県伊勢原市長 [NO.31] 平成12年10月

学習院公開講演

学校法人学習院と学習院大学の主催による「学習院公開講演」。
今年は6月に佐賀県佐賀市、11月に福島県郡山市でそれぞれ開催。
専門分野を極めた講師陣の登場で人気必至の会となりそうだ。

第63回学習院公開講演

平成17年6月12日(日) ホテルニューオータニ佐賀



野村 豊弘

学習院常務理事・学習院大学法科大学院教授

昭和18年生まれ。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了。54年より学習院大学教授。法学部長を経て、平成9年より学習院常務理事。産業構造審議会委員、国民生活審議会委員、文化審議会委員などを歴任。平成13年2月より、消費経済審議会会長、同訪問販売等部会部会長。著書「民法入門(第2版)」(有斐閣)、「民法III(第2版補訂)」(共著・有斐閣)など。



池坊 由紀

学習院女子大学客員教授

平成元年、真如堂真正極楽寺貫主・清水真澄大僧正の戒師により得度し、華道家元四十六世次期家元に指名を受ける。シンガポールに支部を設立するなど、日本はもとより海外でのいけばな振興にも力を注いでいる。平成14年静岡県ヴァンジ彫刻庭園美術館において、イタリアの具象彫刻家ジュリアーノ・ヴァンジの彫刻作品とのコラボレーション花展を行う。カナダ大使館での対人地雷撤去キャンペーン、子どもの読書や関西の伝統文化発信のためのワーキングへの参加、講演など、多彩な活動を行っている。平成16年3月京都市芸術新人賞を受賞。

第64回学習院公開講演

平成17年11月20日(日) 郡山ビューホテルアネックス



永井 和子

学習院女子大学名誉教授

昭和28年女子学習院初等科、学習院女子中等科を経て学習院女子高等科卒。同32年お茶の水女子大学卒。同35年学習院大学大学院修士課程修了。同40年学習院大学文学部非常勤講師、同55年学習院女子短期大学教授、平成10年学習院女子大学教授に就任し現在に到る。平安時代を中心とする日本文学、老人と文学などが研究分野。著書に「伊勢物語(対訳日本古典新書)」「枕草子(新編日本古典文学全集)」「源氏物語と老い」「源氏物語 横笛・鈴虫(源氏物語の鑑賞と基礎知識)」「寝覚物語の研究」「続寝覚物語の研究」などがある。



児玉 清

俳優

本名/北川清。昭和9年1月1日生まれ。東京都出身。昭和33年学習院大学文学部ドイツ文学科卒業。同年6月東宝映画俳優専属契約。同35年映画「別れて生きるときも」「黒い画集」「ある遭難」。同40年映画「戦場に流れる歌」。同42年東宝映画俳優専属契約解除。フリーとなり、後はほとんどがTVの仕事。主な主演作品「花は花嫁」「東芝日曜劇場」「ありがとう」「思い出づくり」「白い巨塔」「素顔のままで」「黄金の日々」「獅子の時代」「山河燃ゆ」「武田信玄」「太平記」「大地の子」など。現在NHKで放映中の朝の連続テレビ小説「ファイト」にも出演。クイズ番組の司会者としても人気。

入試説明会や 合同懇親会も開催

毎回多くの来場者で賑わう「学習院公開講演」。開催概要は左記の通りとなっています。ぜひお出かけください。

●第63回 学習院公開講演

日時/平成17年6月12日(日) 午後2時~午後4時20分

場所/ホテルニューオータニ佐賀(佐賀県佐賀市)

講師/野村豊弘氏。演題「賢い消費者になるために」。池坊由紀氏。演題「なぜ、花をいけるのか」

後援/佐賀県教育委員会、佐賀県女性と生涯学習財団、佐賀市教育委員会、佐賀新聞社、NHK佐賀放送局、STSSラジオテレビ、ぶんぶんテレビ、NBCラジオ

才佐賀、エフエム佐賀、学習院父母会、校友会、(社)常磐会

●第64回 学習院公開講演
日時/平成17年11月20日(日) 午後2時~午後4時20分

場所/郡山ビューホテルアネックス(福島県郡山市)

講師/永井和子氏。演題「枕草子」。児玉清(俳優)。演題未定。

後援/福島県教育委員会、郡山市教育委員会、福島民報社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送

テレビユー福島、ラジオ福島、エフエム福島、学習院父母会、校友会、(社)常磐会

《問合せ》学習院総務部広報課

☎03・3986・0221

沿線風景、機関区、形式写真で見る 『全国蒸気機関車紀行』

学習院大学鉄道研究会OB会

タクト・ワン刊 定価2800円(税込)

南部忠恭 (昭39経)
(同書「巻頭に寄せて」より)

桜友会ライブラリー

BOOK
新刊紹介
GUIDE

学習院卒業生の最新著作を紹介!



南部忠恭氏は同時に「思い出の蒸気機関車写真集/貝線・東北本線と北海道」を出版している。タクト・ワン刊 定価2500円(税込)

私は過ぎ去った過去を振り返るとき、いつも鴨長明の「方丈記」の名文の一節を思い出すのである。
ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消え、かつ結びて、久しくとどま

りたる例なし。——世の中にある人と栖と、またかくのごとし。万物は流転、文明は進歩し、世の中が激しく移り変わってもその時代・時代の一こまの中でひたむきに生き、何かに打ち込んだ情熱、そして青春とともに過ごした仲間との思い出は心の

中にいつまでも軌跡として消え失せることはない。

鉄道をこよなく愛する学生たちが集まり、やがて当時のメンバーが発起人のような形で昭和37年、学習院大学・文化同好会として鉄道研究会が産声を上げた。

当時のメンバーは10人足らず

だったように思うが、勉学の傍ら三々五々、写真を持ち寄っては部屋に入り込み、時間の経つのも忘れ、時には授業を欠席し瞳を輝かせながら鉄道談義をしていた部員一人一人の青春時代の姿が甦ってくる。

鉄道といっても分野が多岐にわたり、模型、写真、機関車、客車・貨車の車両、民営鉄道、鉄道史等、それぞれに得意なものがあった。

部活動としては、年に2回程度合宿旅行を兼ねた企画旅行を実施した。このなかで、機関区見学をはじめ蒸気機関車に添乗させていただく貴重な体験をすることもできた。

また、文化祭へ展示のため深夜までの作業や、年度の機関誌の発行では、当時まだガリ版刷りだったので、鉄筆で原稿を書きながら苦勞して編集にこぎつけたものだった。

振り返ってみると、どんな些細なことでも一生懸命打ち込むことがあったことは、その後の

人生に少なからず潤い・希望・勇気を与えてくれたのではないだろうか。

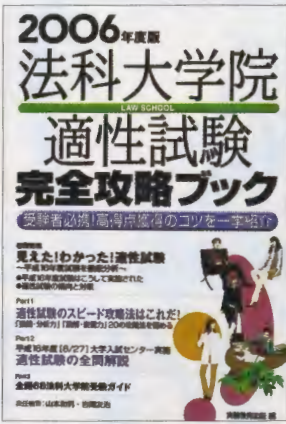
このような同好の士も、卒業後はそれぞれの進路へと離ればなれとなってしまう、メンバーが一堂に会する機会もなくお互いに還暦を迎える齢となってしまう。

今般、銀座で幅広く事業を営むメンバーの一人である辻阪昭浩氏(昭41法)の音頭で、鉄道研究会OB有志により蒸気機関車写真集を発刊することになった。

この写真集は、ある時は夏の炎天下を、ある時は猛吹雪の中を徘徊しながら汽車を追いかけた青春の記録でもある。戦後の日本復興に大きな功績を残し、表舞台から消え去って久しい蒸気機関車も過去の遺物となってしまった感があるが、その力強い面影をたどっていただければ幸いである。

撮影者	南部忠恭 (昭39経)
	國行昭郎 (昭39政)
	高島 康 (昭40経)
	辻阪昭浩 (昭41法)
	一色雅矩 (昭43法)
	牧 和也 (昭47経)
	丹治政昭 (昭47経)

<お知らせ>田島義博(学習院長)・著「人間力」の育て方 4月28日発売! 産経新聞の名物コラムが1冊に。扶桑社・刊 定価1365円(税込)



山本和男・共著 (昭59法)
実務教育出版・刊 定価1500円+税

「法科大学院適性試験完全攻略ブック」
2006年度版



星昌幸・著 (昭57法) 習志野市教育委員会編
丸善・刊 定価1800円+税

「ドイツ兵士の見たニッポン」
習志野停留所1915〜1920



大森由紀子・著 (昭56仏)
柴田書店・刊 定価1800円+税

「フランスふだんのおそうざい」
かんたんレシピとワインとチーズ



横木誠・著 (昭44経)
新生出版・刊 定価1200円+税

「会社で頭角を現わす人・沈む人」
会社で「勝者」として生き残るヒント集



大澤隆之・著 (昭55経)
東洋館出版社・刊 定価1300円+税

「創造性を伸ばす算数の授業」
目から鱗が落ちる体験を通して



廣田彰夫・共著 (昭47政)
同文館出版・刊 定価1700円+税

「販売促進の要領と技術」
これで安心！ 仕事の基本がよくわかる



吉田秀彦・著
吉田秀彦・著
ネコパブリッシング・刊 定価1300円(税込)

「職業・柔道家」
吉田秀彦・著



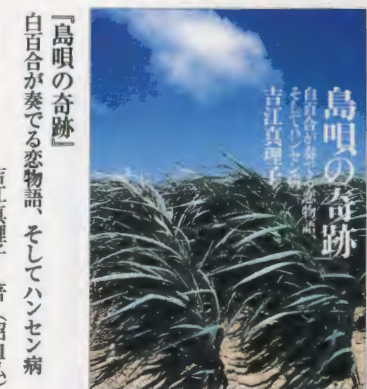
植西聰・著 (昭44経)
全日出版・刊 定価1200円+税

「結婚したいあなたへ」
30代幸せになった彼女たちの法則



伊勢華子・著 (平4修管)
大和出版・刊 定価1400円+税

「みみをすませば」
世界の子どもの言葉



吉江真理子・著 (昭51仏)
講談社・刊 定価1700円+税

「鳥唄の奇跡」
白百合が奏でる恋物語、そしてハンセン病

第2回 開高健 ノンフィクション賞 最終候補作が この春単行本に！
惜しくも受賞はしたが、最終4作に残り評判を呼んだ第2回開高健ノンフィクション賞候補作が「鳥唄の奇跡」のタイトルで出版された。
終戦直後、沖縄・石垣島の白保で結成された音楽バンド「白百合クラブ」のメンバーが遺した唄の謎を追う感動のノンフィクション作品。サブタイトルに「白百合が奏でる恋物語、そしてハンセン病」とあり、最近のハンセン病についての取材情報も豊富に織り込まれている。
著者は学習院大学フランス文学科卒業後、出版社勤務を経て現在フリーの編集者、ライター。著書に「ヤマト嫁／沖繩に恋した女たち」(毎日新聞社・刊)などがある。

卒業30・40・50周年のOB・OGが 大学卒業式に招待

新・桜友会員の誕生に立ち会う。

平成17年3月20日、目白・百周年記念会館正堂で、第54回学習院大学卒業式および大学院修了式が執り行われた。
この卒業式には周年同窓会の該当年次の代表者23名が招待された。



学習院大学卒業式で祝辞を述べる亀井桜友会長

今年の学習院大学の卒業生は、文学部709名、理学部157名、法学部537名、経済学部575名の計1978名。式は第1回文学部・理学部、第2回法学部・経済学部の2回に分けて行われた。

それぞれ、永田良昭学長の告辞、田島義博院長の祝辞に続き、亀井泓桜友会長が来賓を代表して「今後は在学生を支援する立場になる」と、新・桜友会員に語りかけた。前日の3月19日には、学習院女子大学の卒業式が行われた。

平成17年度 周年同窓会開催予定

卒業30周年同窓会 〔昭和50年卒業〕

昭和50年大学卒業、および昭和46年入学の同期会を、大学、短大を含む形で開催いたします。ゼミ、サークル、会社・業界、全国支部の同期生など、多数の方々にお声かけしていただき、盛大な会となるようにご協力をお願いいたします。

日時 平成17年10月22日(土) 15時～
場所 目白・百周年記念会館3階小講堂
連絡先 桜友会事務局
☎03・3988・3288

卒業40周年同窓会 〔昭和40年卒業〕

昭和40年に大学・短大を卒業した同期生が一堂に会し、お世話になった先生方

以下の卒業式招待者が
周年同窓会の準備中。
ご協力をお願いいたします。

〈卒業30周年〉吉江隆信(仏)、中橋徳義(経)、関根福一(政)、浅倉 猛(経)。〈卒業40周年〉清水宏子(独)、村上雅子(独)、中島洋子(仏)、中川昭弘(化)、村松喜代子(化)、宮坂裕子(法)、小林泰彦(政)、中村嗣郎(政)、橋本喜正(経)、渡辺健次郎(経)。〈卒業50周年〉倉本玲子(英)、平尾祐子(仏)、徳川陽子(物)、川口三千佳(化)、武井絢子(政)、三松奎作(政)、高尾信造(経)、中島 泉(経)、廣幅忠勝(経) 以上敬称略

をお招きして、ともに旧交を温めましょう。地方から参加される方や、同期会の延長を楽しまれる方の利便も考えて、ホテルに会場を設けました。皆様の多数のご参加により、この同期会が一層盛り上がりそうです。ご支援をお願いいたします。

なお、卒年が異なっても入学が昭和36年の方のご参加も大歓迎です。当日は、学部ごとにスポットを設け、同期生のバンド演奏をお楽しみいただく予定です。

日時 平成17年9月24日(土) 17～19時
場所 センチュリーハイアット東京(新宿)
「桃山の間」
連絡先 清水洋二(昭40経)
☎03・5571・2600
金子義明(昭40経)
☎03・3460・9572

卒業50周年同窓会 〔昭和30年卒業〕

卒業50年の節目に、母校に集合し、楽しいひと時を過ごさすよう、計画を立てています。詳細は8月中旬頃に、昭和30年卒業生全員にご案内状と出欠用ハガキを送付いたしますので、よろしくお願いいたします。

日時 平成17年10月15日(土) 12時30分～
場所 目白・百周年記念会館3階小講堂
連絡先 桜友会事務局
☎03・3988・3288

*周年同窓会の詳細は桜友会ホームページでもお知らせします。最新の情報はホームページをご覧ください。

旅・生・活

PLUS JTB

年に一度、遊び心のある生き方。



- 旅行やレジャー、グルメが楽しめる
- 5年間受取の年金型プラン
- 受取期間中もサービス額をプラス
- 積立期間を自由に設定可能



DUPUY-BERBERIAN

実質引換換算率
108.35%
 最大5年積立

新登場!

Wのサービス額で、おトクな積立プランです。

積立サービス額 年利換算 **2.50%** + 受取期間サービス額 年利換算 **1.00%**
(単利月数計算) (単利月数計算)

当商品は金融商品ではございません。現金での受取りはできません。

旅にグルメに、年金型レジャー積立プラン

JTBレジャー年金

レジャー年金

わが国のエネルギー事情



第23回 経済学部会 講演会 (要旨)

平成16年11月17日 百周年記念会館にて

河野博文 (昭39高) 元・資源エネルギー庁長官

エネルギーを語るには3つの要素がある。安定供給と環境と効率性だ。この3つは互いに相容れない要素を含み、3つをうまく均衡させながら満足させなければならぬというのが、エネルギー政策の悩みだ。

効率性は、経済性で、長期的には原子力が安いと思うが、現状では、石炭が石油や天然ガスよりも安いし、中国、豪州、米国、ロシアにもあり、供給の分散のためにもよく、安定度の高い資源である。しかし環境の面ではCO2がたくさん出るののでよくない。ガス量では石油80%、天然ガス60%に比べ多い。

エネルギーの供給構造を考えると、1973年と今日の比較で、石油は77%→49%、石炭15%→19%、天然ガス・原子力2%→13%と変化した。日本のエネルギーが、石油から他のエネルギーにシフトしたこと、日本経済が成長する中で円高が進んだこと、エネルギーを減らすような経済体質になったことなどが相乗効果となって現れた。

電力会社は、石油73%→63%、石炭5%→10%、天然ガス2%→26%、原子力3%→34%と変わった。

エネルギーセキュリティは国家的に重要だ。日本の自給率は20%に過ぎない。米国は70%、仏国50%、独国40%で、日本の低さが際立っている。プッシュ

大統領は「わが国には250年分の石炭がある」といつている。石油への依存度では、米国40%、仏国・独国が30~40%に比べ、日本は50%と高い。しかも日本は中東依存度が86%と非常に高く、米国、仏国、独国の20%程度との差は大きい。日本は輸送コストでは、中東の石油が最も安く、どうしても中東に頼らざるをえない宿命にある。

エネルギー問題を考えると、中国がキーポイントになる。現在エネルギー消費がどんどん増えており、マーケットへのインパクトは計り知れない。環境に対する影響とともに重大な問題である。中国の成長は非常なスピードで恐ろしいくらいだ。また、中国の国策の石油会社は世界の各地で石油利権を求めて投資している。国策会社なので資金にかなり力がある。

一方、投資の面でいうと、メジャーは巨大で、ヒクソンモデルの経常利益は年間2兆円であり、ガリバーである。

供給構造上の問題でいうと、価格はほとんど上がり、供給が追いつかない。今はOPECの供給弾力が非常に乏しくなっていて、供給の半分以下になっている。大きな存在のロシアもそれほど余裕はない。潜在的に値上がりの背景がある。

さらにポリテカルリスクが見える。イラクが不安定であり、

サウジに飛び火するかもしれない。ナイジェリアで暴動が起こったり、ベネズエラではよくストライキが起こる。投機も非常に盛んだ。大量の投機資金がこの世界に入っている。金融マーケットの金がほんの少し石油の投機市場に入ってくれば、それだけで大きく値段を左右する。

政策的に一番高いハードルは環境だ。地球温暖化防止条約が発効し、日本は1990年に比べて二酸化炭素排出量を6%減らさねばならない。日本は「乾いた雑巾を絞る苦しみ」で大変な努力をしなければならぬ。

構成/南坊文寛(昭49経 江島 昭(昭41経

キャンパス散歩 21世紀の日本を考える シンポジウム開催

学習院大学政治学研究科主催



東2号館。法学部・経済学部教育研究棟

6月11日、「21世紀の日本の政治と政策—公共政策大学院の可能性」と題したシンポジウムが開かれる。

パネリストは山崎正和氏(劇作家・東亜大学長)、若宮啓文氏(朝日新聞社論説主幹)、猪木武徳氏(国際日本文化研究センター教授・労働経済学)、松村岐夫氏(学習院大学政治学教授・行政学)、佐々木毅(学習院大学政治学教授・政治学)の5人。日本を代表する言論人・学者が集い、

不安定な国際環境や社会・経済情勢の中での、21世紀の日本の政治と政策のあり方を議論、政治や政策を支えていく人材の育成、高等教育のあり方を考えていく。

日時/平成17年6月11日(土) 13時~15時30分(開場・受付は12時30分) 場所/創立百周年記念会館正堂。参加費/無料。問合せ/学習院大学法学部共同研究室

03・3986・0221 (内線4801~4803)

桜友会経済学部総会での講演者一覧

回数	開催日	講演テーマ	講演者	卒年	講演時役職
第1回	昭和57年12月2日(木)	*	橋口 収	昭和16高旧	公正取引委員会委員長(元国土庁事務次官)
第2回	昭和58年11月14日(月)	*	藤村 邦苗	昭和24高	サンケイ新聞報道局長、フジテレビ取締役報道局長
第3回	昭和59年11月28日(水)	*	二見 道雄	昭和35経	NHKニュースキャスター
第4回	昭和60年11月18日(月)	*	恒松 制治	*	島根県知事(元経済学部教授)
第5回	昭和61年11月10日(月)	*	久保 治彦	昭和32政	日本銀行検査局長
第6回	昭和62年11月7日(火)	*	飯田 亮	昭和31経	セコム(株)会長
第7回	昭和63年11月15日(火)	アサヒビールの奇跡	中條 高德	昭和27文政	朝日麦酒(株)副社長
第8回	平成元年11月10日(金)	バレーボールを通して得たもの	三屋 裕子	*	学習院大学講師
第9回	平成2年11月16日(金)	世界経済雑感	坂本 俊造	昭和31政経	三菱総合研究所 国際分析センター
第10回	平成3年11月16日(土)	企業経営と経済	高丘 秀昭	昭和23高旧	西友会長
		ナナの人生一回 エースをねらえ	佐藤 直子	昭和48女高	元プロテニスプレーヤー
第11回	平成4年11月16日(月)	アメリカ新大統領とこれからの対米関係	松尾 文夫	昭和31経	*
第12回	平成5年11月15日(月)	Jリーグの光と影	伊地知 尚	昭和33政経	国際空港事業(株)社長(前全日本空輸専務取締役)
第13回	平成6年11月14日(月)	国連 うらおもて	波多野敬雄	昭和25高	フォーリンプレスセンター理事長(元国連大使)
第14回	平成7年11月14日(火)	オックスフォード大学に学んで	皇太子殿下	昭和57文	*
第15回	平成8年11月18日(月)	21世紀の日米関係	栗山 尚一	昭和26高	外務省顧問(前駐米大使)
第16回	平成9年11月28日(金)	21世紀をめざしての日本の半導体産業	川西 剛	昭和24高旧	東芝(株)常勤顧問(前取締役副社長)
第17回	平成10年11月5日(木)	夢をつむぐオベレッタ	寺崎 裕則	昭和31経	日本オベレッタ協会会長
第18回	平成11年11月15日(月)	酒を通して語る日本人のこころ	吉野美江子	昭和29短英	吉野酒造(株)副社長
第19回	平成12年11月20日(月)	脳の新しい科学—老から守るために—	高倉 公朋	昭和26高	東京女子医科大学学長
第20回	平成13年11月19日(月)	最近の金融経済情勢	賀来 景英	昭和32中	(株)大和総研副理事長
第21回	平成14年11月18日(月)	グローバル化時代の日米経済関係	柳井 俊二	昭和31高	中央大学法学部教授、前駐米大使
第22回	平成15年11月19日(水)	江戸時代と現代	徳川 恒孝	昭和39政	日本郵船(株)元副社長、徳川記念財団理事長
第23回	平成16年11月17日(水)	わが国のエネルギー事情	河野 博文	昭和39高	元資源エネルギー庁長官

*第3回は当初磯村尚徳氏を予定していたが取材出張の為、二見氏にお願いした。

*第10回は経済学部会10周年記念会として高丘、佐藤の2氏にお願いした。

第12回総会・講演会・懇親会のご案内



講演会講師：NHK政治部記者 小池英夫氏(昭60営)

テ マ：「政治部記者としてみてきたこと——これまでの取材を通して」

日 時：平成17年7月16日(土) 15時

会 場：総会・講演会 創立百周年記念会館

懇 親 会：輔仁会館2階さくらラウンジ

会 費：5000円(予約振込4000円)

*同封のハガキにて出欠をお知らせください。

振 込 先：三井住友銀行 目白支店

普通預金No.6390568 桜友会法学部同窓会 宛

振込締切りは7月4日(月)

締切り後は当日受付にて申し受けます。

*「桜友会法学部同窓会」は、文政学部政治学科・政経学部政治学科・法学部法学科および政治学科卒業生の同窓会です。

*総会・講演会・懇親会ともお誘いあわせのうえ、是非ご出席ください。

*懇親会は名刺交換会を兼ねます。ご参加の方は名刺をお持ちください。

*他学部卒業生・現役学生の講演会への入場も大歓迎です。



平成17年6月25日 学習院大学南3号館にて

総会での講演会 演題「大学、内と外から」

長澤 宏 学習院大学名誉教授

6月25日に開催 平成17年度総会

別項の通り、6月25日(土)午後2時30分より、理学部同窓会の平成17年度総会を開催いたします。今回は、新会則の規定に基づき、同窓会役員の改選、承認も議事の中で行います。

議事に続き3時30分より、長澤宏学習院大学名誉教授(理学部化学科)に「大学、内と外から」と題して講演いただきます。先生は、宇宙・地球化学をご専門とされ、嘗て「三宅賞」(地

理学部同窓会

平成17年度総会・講演会・懇親会のご案内

日時：平成17年6月25日(土)
南3号館・201教室

総会：14時30分～15時30分

講演会：15時30分～17時

講師：学習院大学名誉教授(理学部化学科)
長澤 宏 氏

テーマ：「大学、内と外から」

親睦会：17時20分～19時 輔仁会館1階「社」

会費：5,000円

同封のはがき、E-mailで6月11日(土)迄に出欠をお知らせ下さい。多数の方の参加をお待ちしております。

球化学研究協会学術賞(受賞等)多くの業績を残して、平成16年3月に停年退職されました。また引き続き、5時20分より「社」で懇親会を行います。多くの方々のご参加をお待ちしております。

文書でお願いした 「臨時総会」の報告

理学部同窓会長及び監事が臨時総会で承認されました。常任幹事会で選出された会長候補及び監事候補を、新会則の規定に従い承認いただく臨時総会が文書により平成17年1月11日投票締切で開催されました。各議案に否の場合はその旨表示し指定用紙で返信いただく方法で投票をお願いいたしました。が、全ての議案が承認されました。

「投票結果及び承認された議案」

会員総数 5643名

第1号議案 同窓会長

菅 忠義(33物) 否票2、承認

第2号議案 同窓会監事

松岡志郎(28化) 否票0、承認
第3号議案 同窓会監事
竹島秀和(33化) 否票0、承認
なお、任期は、いずれも平成17年度総会までです。ご協力ありがとうございました。

30年目を迎えた 就職支援活動

昭和50年から始めた就職支援活動は30年目を迎え、益々その活動も活発化し、内容も充実、成果も一段と高まっております。昨年度も、5月の理学部との打ち合わせ、6月の就職委員会合会に続き、6月19日、10月2日、11月27日と3回に分けて、総括説明から個人面談まで、幅広いガイダンスを行い、特に第3回目では卒業生約50名、学生延べ約100名の参加を見ました。

企業の理学部学生への期待は、理学部や卒業生からの推薦を重視する傾向が強いため、一般的な就職活動よりも、これらの環境に応じた有効な時間配分

を指導しており、この結果、常に100%に近い内定を得て、後は卒業研究に専念できる好ましい状況を得ております。

なお、昨年度から、希望学生を対象に就職以外の悩み相談も受ける支援活動を試み、大変好評を得ております。

「理学部近況」

理学部長他の要職を歴任された化学科の飯島孝夫教授が3月末をもって停年退職されました。

新年度から、理学部長に藤原大輔教授(数)、物理学科主任に川端有郷教授、数学科主任に谷島賢二教授が就任されました。

講演会と懇親の場 「技術交流会」

第31回講演会。平成17年1月22日(土)、「ナノテクノロジー」の事業化と企業化」岡村公司氏(株・大和総研、産学連携調査部 主任研究員)

第32回講演会。同3月26日



技術交流会での活発な意見交換

理学部同窓会連絡窓口(事務局)

〒161-8691 東京都落合郵便局私書箱第55号

学習院大学理学部同窓会

E-mail:doso-ri@gakushuin.ac.jp

E-mail:NAOMITOKYO@aol.com

理学部同窓会ホームページ

http://oukai.etc.gakushuin.ac.jp/
gakubukai/rigakubu.htm

理学部同窓会 第1回ゴルフ大会

平成16年10月28日(木)、理学部同窓会の第1回ゴルフ会が富士平原ゴルフクラブで開催されました。冠雪した雄大な富士山が映える快晴の下で、12名がプレーを楽しみ、星野洋一氏(30

(土)、「最近の技術者教育」橋谷元由氏(39化)を開催いたしました。各回とも会員に加え、他学部卒業生や在職中の先生方、在学生の参加も多く、活発な質疑応答や意見交換、終了後の懇親会での歓談も弾み、有意義な講演会をもつことが出来ました。

なお、技術交流会には、どなたでも入会できます。ご希望の方は、別掲の理学部同窓会連絡窓口までお問合せ下さい。

化)が初回優勝に輝きました。
第2回大会は平成17年5月10日(火)、同コースにおいて6組で開催されます。
次回以降、案内メールを希望される方は奮って左記までご連絡下さい。
ゴルフ会幹事 酒井佐芳(34物)
sakai@h02.iscom.net



第1回理学部ゴルフ会コンペ



長い間ありがとうございました！ 「最終講義」ご報告

平成17年3月31日をもって学習院大学を退職された教授、助教授をご案内します。

日本語日本文学科 吉田敦彦教授

吉田敦彦教授の最終講義が平成17年1月22日に「神話学と私の歩み」と題して行われました。多くの卒業生・在学生が聴講し、最後を飾るにふさわしい記念の授業となりました。
講義後は百周年記念会館に場所を移し懇親会を開催、こちらも盛会となりました。

英米文学科 武田千枝子教授 寺門泰彦教授 今井邦彦教授 GOODHEW, Linda 助教授

寺門泰彦教授が「真夜中の子供たち」再訪のタイトルで、1月15日に、学習院大学西5号

常磐会だより

紀宮清子内親王殿下におかれましては此の度ご婚約遊ばされ、ご婚儀は秋以降と承っております。誠によろこばしいこの年は、常磐会創立百十周年の記念の年でもございます。

左に、秋までの行事をご案内致します。是非お出かけ下さい。
○チャリティーゴルフコンペ 6月6日(月)
程ヶ谷カントリー倶楽部
○チャリティー講演会 10000円
講師 明石 康 氏(元国連事務次長)
6月17日(金)13時30分〜15時
百周年記念会館 3階小講堂
○チャリティーブリッジ 有料
6月27日(月)10時〜16時頃
百周年記念会館常磐会会議室

○常磐会バザー
会員の寄付品、委託品の販売
10月13日(木)10時〜16時
10月14日(金)10時〜12時
百周年記念会館 3階小講堂

○学習院女子部八重桜祭に参加
10月29日(土)30日(日)於戸山
○常磐会創立百十周年記念チャリティーコンサート
出演者 東儀 秀樹 氏
11月27日(日)14時 4000円
百周年記念会館正堂

☆行事についてのお問合せは、事務局
☎03・3982・1687まで

中等科・高等科校友会

東京ガス・安西邦夫会長 が今年の総会の講師

第7回中等科・高等科校友会総会が、平成17年2月19日に、目白の中・高等科校舎で開催されました。総会は、古

屋勝彦中・高等科校友会会長(昭35経)の「中・高ファンド」への協力要請、会員名簿についての説明ではじまり、引きつづき、渡辺琢仁副会長・事務局長(昭38経)ほか担当幹事よりの活動報告、会計報告が承認されました。
議事終了後は、恒例となった講演会。今回は、東京ガス・安西邦夫会長(昭27高)に「選択されるエネルギーを指して——エネルギー改革

の行方」と題した、約1時間の講演をお願いしました。日本はエネルギーの8割以上を海外に依存する資源小国であること、エネルギーの安定供給が国家にとって一大事であること、そのための困難さが現在の環境問題や経済効率指向にあることなどを、資料を参照しながらお話いただきました。



講師を務めた安西邦夫東京ガス会長



講演会はほぼ満席の大盛況

草上会 WOMEN'S COLLEGE

平成17年・18年度
運営委員選出

草上会会則改正後の運営委員の改選が、平成17年3月14日に行われ、2期目を迎えた杉浦孝子会長を除く19名が選出されました。3月26日の幹事会では新たに会長推薦5名が承認され、25名の運営委員で新年度の活動が開始されました。

【新運営委員】
会長・杉浦孝子（短13食）、副会長・田邊絢子（短3国）、委員・越智和子（短3英）、木村潤子（短4国）、鈴木喜久恵（短5被）、阿刀田慶子（短8英）、大久保信子（短8英）、堤曉美（短10食）、西山輝子（短11英）、舟木八重乃（短14食）、濱岡位久子（短15英）、吉田雪枝（短16国）、長澤乃婦子（短16英）、福田弘子（短16被）、田中知江（短19食）、市川奈々子（短21国）、長谷川かず子（短21英）、朝比奈和子（短22国）、杉本妙子（短23英）、甲斐せつ子（短23文化史）、松本千鶴子（短24国）、金尾ゆき子（短24家）、岡部靖子（短25家）、青山洋子（短26英）、松田崇江（短26家）

いあいさつ

会長 杉浦孝子
副会長 田邊絢子

平成17年度は、今期留任を決めた会長、改選された新運営委員と新副会長による新体制で運営委員会が発足しました。

平成15年4月から草上会の運営は、桜友会から経済的独立という大きな命題を与えられ自主運営に移りました。皆様のご協力により初年度から経費の削減による赤字の解消、会則の改正を行うことができましたことをお礼申し上げます。

16年度は、懸案であった和室の畳表替え、襖、障子の張替えと必要最小限の備品購入等を実現できました。

今年度も当初から、財務の健全化、草上会活動の活性化を基本方針としての運営とし、会員約2万4000名を擁する同窓会が、昭和42年以来草上会費という会費収入のない不安定な経済基盤の上にあるという事実をふまえ、将来に向けて健全な基盤作りを目指し、諸問題を皆様とともに考えていきたいと存じます。何卒ご指導ご鞭撻ご協力をお願い申し上げます。

【平成17年度草上会活動予定】

- 運営委員会／毎月第1月曜日
- オール学習院の集いに参加
- 幹事会／5月・11月・3月
- 総会／6月25日（土）
- 教養講座講師連絡会
- 和祭に参加／10月15日・16日
- バザー／和祭にて同時開催
- 単発講座他
- ボランティア他

パソコン教室開催 新しい女子大2号館で

女子大学新校舎落成の記念とお披露目の特別講座として、3月15・17日、3日間の集中講座を、女子大の先生方のご好意により開催いたしました。

まったくの初心者から経験のある方まで、どのように教えてくださるのか一抹の不安がありました。結果は見事なもので、3日目にはインターネットから絵も取り入れたりして自分史を完成させ大満足でした。「是非また次回をお願いします」との大合唱で終了いたしました。



新校舎でのパソコン教室

第47回

草上会総会のご案内

（卒業生の集い）

定時総会を左記の通り開催いたします。今回は、テレビレポーターとしておなじみの東海林のり子氏をお迎えして楽しいひと時を皆様と過ごしたいと思っております。是非お誘い合わせの上ご出席ください。

日時 6月25日（土）

10時30分受付 11時開会 14時30分閉会

会場 赤坂プリンスホテル別館5F
ロイヤルホール

千代田区紀尾井町1の2

☎03（3234）1111

会費 1万円

議題 ○新運営委員の紹介

○平成16年度 活動、決算報告の件

○平成17年度 活動計画、予算の件

○その他

講演 東海林のり子氏（テレビレポーター）
「輝いて生きるために」



5月31日（火）までに同封の葉書に切手を貼ってお申込み下さい。Faxでもお申込みいただけます。なお、締切り後の変更は会費を申し受けます。

問い合わせ 草上会

☎03（3203）6476

FAX 03（3203）0076

平成17年5月1日

草上会会長 杉浦孝子

担当回生 短24・37回生

*なお、今年度も時間の都合上、集会写真の撮影はございませんのでご了承ください。

「桜再生プロジェクト」

その後の経過と「桜の浮世絵版画」頒布のご案内

今橋理子 (平5 哲博)

学習院女子大学助教授



上/完成した大型テーブル第一号
左/今回特別製作される歌川広重「隅田川
水神の森真崎」の図

本誌84号(2004年5月)でも報告しましたように、女子大学の「桜再生プロジェクト」が本格的に形を現して参りましたので、以下経過をご報告いたしますとともに、さらに皆様にも積極的なご理解とご協力をお願いする次第です。

今回のプロジェクトでは、女子大学の新教室棟建て替え工事に伴い、やむを得ず伐採された

10本の桜木を使い、①学生研究室用大型テーブルの製作、また②伝統的に桜材だけを版木に用いる「浮世絵版画」の製作、の実現化を目指して参りました。結論から申し上げますと、いずれの計画も現在順調に進んでおり、それぞれの完成時期が見えてきました。まず①の大型テーブルですが、江戸指物師・木村年男氏の手により現在5台が製作中で、記念すべきその第一号が本年1月に完成し、すでに学生研究室内に設置されております。釘を一切使用しない指物本来の工法で、見事に仕上げられた桜材のテーブルは大変な風格を備え、学生たちからも大好評です。残り4台の製作も急ピッチで進んでおり、7月上旬ごろ

までには全て完成・搬入の予定です。

また②の浮世絵版画ですが、こちらも現在版木の「彫り」の作業が進んでおり、この

秋末には作品が完成する見込みです。命半ばで伐採された桜木たちですが、せめて絵画の中で永遠に咲き続けてくれることを願い、題材にはあの歌川広重の著

名な浮世絵風景版画シリーズ「江戸名所百景」の「隅田川水神の森真崎」が選ばれました。満開に咲き誇る八重桜を前景に、その向こう遙かに穏やかな筑波山を臨む景色は、本シリーズのなかでも傑作のひとつに挙げられています。今回の特別製作にあたっては、人間国宝・九代目岩野市兵衛氏の手による越前和紙の使用をはじめ、版木の仕上げ・彫り・摺りのすべての工程において、伝統工芸士の方々の協力を特別に得ることができました。一般に市販されている複製木版画とはまったく違う、最初で最後の企画と言えるでしょう。この作品を草上会会員・女子大学在学学生・教職員、また本プロジェクトに関心のある桜友会会員を中心に、限定頒布(350部、2006年1月予定)いたします。売り上げは、このたび製作された版木の永久保存と戸山キャンパスに植生する桜木の保護を目的として、草上会より女子大学へ寄付されます。

桜木の命を惜しみ、自然環境保護と伝統文化の理解と発信も旨とした「桜の浮世絵版画」プロジェクト。つきましては皆様にも、頒布ご予約のご案内を申し上げます。詳細はチラシ・お申し込み用紙等をご用意しておりますので、草上会までお問い合わせください。

草上会事務局取り扱い時間の変更

月曜日 第1、第3週 12~17時
火曜日~金曜日 12~17時
土曜日 第1週 10時~13時30分
諸手続き、お問い合わせなどはこの時間内でお願いたします。

また、FAXもご利用くださいませ。

■連絡・問合せ先

〒162-8650 新宿区戸山3-20-1
学習院女子大学・草上会事務局
☎03-3203-6476 FAX03-3203-0076

特別頒布

歌川広重「名所江戸百景 隅田川水神の森真崎」

頒布価格 25,000円 一口一点 (木版画額装・消費税・送料・寄付金込)

■木版画仕様

- ◎ 版木：学習院女子大学桜材 (ソメイヨシノ)
- ◎ 用紙：越前生漉奉書 (人間国宝・岩野市兵衛澆元)
- ◎ 手摺木版画
- ◎ 版木製作：木村年男
- ◎ 影師：渡辺和夫
- ◎ 摺師：吉田秀男

- ◎ 版画製作コーディネート：美術書出版株式会社芸仲堂
- ◎ 額装寸法：縦51センチ 横35.5センチ
- ◎ 額仕様：桜材、アクリル入り
- ◎ 特製パンフレット付
- ◎ 頒布数：限定350部



■お申し込みは草上会まで

木版画の完成は2005年秋、頒布は2006年1月の予定です。

明治から昭和へ

歴史とともに変遷する海軍、
横須賀、「三笠」への思い。

遠藤初彦 (昭30政)

海上自衛隊幹部候補生学校6期



1960 中央にご成婚翌年の皇太子殿下、同妃殿下
昭和35年 (現・天皇后両陛下)。奥の白い制服姿は海
上幕僚長・庵原貢海将、左は横須賀地方総監・福地誠夫海将。
左端の半身が切れている人物が元海軍大将・山梨勝之進氏。
同氏は第17代学習院長 (昭和14年10月～同21年5月)。右の制
服姿が、横須賀地方総監の副官だった遠藤初彦氏。

平成16年(2004)2月10日は日露戦役の宣戦布告、開戦百周年、平成17年(2005)5月27日・28日の両日は海軍史上稀にみる完勝を得た同戦役の日本海軍から百周年にあたります。この海戦時の連合艦隊司令長官であり、後の昭和天皇の東宮御学問所総裁、東郷平八郎元帥が指揮をとられた旗艦「三笠」のことについて記述します。

司馬遼太郎著「街道をゆく」42三浦半島記に、「三笠」のことや自分が尊敬する山梨勝之進閣下に関するところが描かれています。読み進むうち明治から昭和にかけての海軍のことにあらためて感慨にひたり、この場をお借りして小生の所感を披露させていただきます。次第です。

時に幕末、三浦半島の漁村にすぎなかった横須賀が、何故日本の近代化の源泉とまでいわれる程に発展したかといえは、それはいうまでもなく、幕臣小栗上野介がフランスのツーロン軍港を範として粉骨砕身奔走し、一大造船設備を建設し残したことによるものだと同書で記されております。

今日、逸見の公園内に小栗上野介の胸像がありますが、彼の悲運無念さは誰もが預かり知れることですので詳細は割愛させていただきます。

小栗上野介が醜聞にさらされ不遇の最期を遂げた後に、東郷元帥が日本海海戦後、小栗上野介の遺族を麹町の私邸に招き「小栗さんが横須賀に工場を造ってくださったお陰です」と鄭重に礼を言ったというくだりには感銘いたしました。

私が海上自衛隊に勤務し青春時代を過ごした横須賀の歴史的背景はまさにここにあるのだと思いがします。

さて、話題を日本海海戦の旗艦「三笠」に移したいと思います。「三笠」は大正15年(1926)当時から、楠ヶ浦と呼ばれていた現在地に記念艦として保存展示されていますが、時代の変遷とともに悲運な運命をたどることになりました。

昭和20年(1945)の戦後、歴史的な諸設備は撤去されてしまい、甲板上はカマボコ兵舎型のダンスホールに様変わりしました。それから約10年後の昭和33年(1958)、「文藝春秋」

2月号に米海軍のC・W・ニミッツ元帥が、「世界3大記念艦の1艦である『三笠』は海軍の栄光の歴史として永く記念保存すべきである」との論文を寄稿されました。

このときの寄稿料はニミッツ元帥の副官に託され、同副官から時の海上自衛隊横須賀地方総監・福地誠夫海将(海軍兵学校53期・故高松宮殿下同期)に、荒廃した「三笠」の艦内で手渡されました。その時の記念写真の背景にしてもダンスホールの舞台を彷彿させます。

今上陛下ご成婚の明くる年の昭和35年(1960)、浦賀トックの尽力で「三笠」は海戦当時の様子が忠実に復元され、当時皇太子、同妃殿下であられた今上天皇、皇后両陛下が新装成った記念艦「三笠」に行啓あそばされました。

その折、すべてのタラップには白布が敷かれ細心の心配りが施されており、「これぞスマートであれ」の海上自衛隊の矍の現れだと、横須賀地方総監の副官として陪席させていただいた小生は未だ鮮明に記憶しております。

ここに掲載の写真は、私の手許に唯一残されたその折の記念写真です。

両陛下をお迎えして、ご説明役の福地総監、庵原貢海上幕僚長(海軍兵学校52期)、そして英国ヴィッカーズ造船所で「三笠」の艦装に携わり回航時に乗り組まれた山梨勝之進元海軍大将(海軍兵学校25期、陛下が学習院時代の学習院長)も、その控えめなお人柄の如く画面左に半身だけが写っております(残念ながらそのお顔は見えません)。

「街道をゆく」を読破した後はこの写真を手にすると、ここに写っている方々の「明治から昭和」がそれぞれに語られていると思ひ、感慨深いものがこみ上げてきます。

注・重艦が鋼鉄で造られ蒸気機関で動くようになってから世界史で初めての大艦隊による一大海戦であった日本海海戦のことをニミッツ元帥はたたえています。なお、ニミッツ元帥が海軍少尉の時に日露戦役後旋回が日比谷公園で開催されたが、その折に東郷元帥に接し、元帥の国葬の際には弔問の米海軍巡洋艦の艦長として国葬に参列した。

桜友会創立80周年記念

最新版

桜友会会員名簿



特別頒布価格で好評発売中！

約10万人の会員名簿

大学院卒名簿も完全網羅

勤務先名簿がさらに充実

桜友会創立80周年を記念して昨年秋、5年ぶりに内容を一新して発行された「桜友会会員名簿」。明治22年から平成15年まで学習院に在籍した桜友会会員約10万人の住所、電話番号、勤務先が掲載された、まさに桜友会のバイブルです。最新版の特徴は、大学院卒の名簿を完全網羅したほか、5名以上在籍する企業や学校、官公庁の勤務先名簿が前号よりさらに充実しています。この機会にぜひお求めください。

●A4版・上製本1500ページ
頒布価格 1部8000円(送料込)
*名簿の申込みは、桜友会基本会費納入者限定です。

●お申込み・お問合せは●

桜友会事務局

☎03・3988・3288 FAX03・3988・3853

E-mail oukai1@gakushuin.ac.jp

ホームページ

<http://oukai.etc.gakushuin.ac.jp/>



私たちのフィールドに限界はありません。
つくり続けたい、明日を。グラウンドデザイナー・カジマ。

in 鹿島
KAJIMA CORPORATION

www.kajima.co.jp